

706号 4月1日

## 【ノートPC】6大ノートPC ODMメーカー全て成都/重慶進出 部材集積加速

2011-03-28 中華液晶網

世界の6大ノートパソコンODMメーカー、広達(Quanta)、仁宝(Compal)、緯創(Wistron)、英業達(Inventec)、和碩(Pegatron)、鴻海(Foxconn)が成都・重慶に生産基地を建設することから、周辺部品・原材料メーカーの成都・重慶周辺への進出ラッシュが起きている。ノートパソコン用プラスチック筐体最大手の巨騰(Juteng)が今年3月初めに正式に重慶市の西に位置する四川省内江市に工場建設を開始したほか、真空スパッタリング鍍金の柏騰(Paragon)、放熱モジュールの超衆(CCI)及び奇鋹(AVC)、マザーボードOEMの精成(GBM)も成都・重慶周辺に進出することを正式に発表している。

このうち、巨騰董事長の鄭立育氏は、内江市の新工場は今年7-9月には試験生産を開始、2012年初めには量産を開始する計画で、初期の年産能力は1000万セット、2013年には3600万セットまで拡張することを明らかにするとともに、金属筐体の生産も始めることを明らかにしている。

巨騰の協力メーカーである柏騰科技も、巨騰の要請を受けて、内江市に工場を建設する計画で、初期投資額は300万米ドル(約8922万NTD)としている。また、重慶市にも同額の300万米ドルを投じて工場を建設することを明らかにしている。ノートパソコン用ヒンジ最大手の新日興(SZS)も、成都に500万米ドルを投じて新工場を建設することを明らかにしている。

放熱モジュールでは、奇鋹が既に成都に進出しているほか、最大手の超衆が重慶に1000万米ドルを投じて巨昇科技を設立している。超衆の昨年のノートパソコン用放熱モジュール出荷量は3700万セット、世界市場シェアは15-20%に達している。主力ユーザーは、広達(Quanta)、仁宝(Compal)。

華新集団(Huaxin)傘下のノートパソコン用プリント基板最大手の瀚宇博徳(Hannstar Board)も成都・重慶に進出することを決めているほか、瀚宇博徳傘下のマザーボードOEMの精成科技も、重慶に200万米ドルを投じ、マザーボードOEM生産を行う瀚宇精成電子を設立している。

## 【ノートPC】柏騰、重慶/内江に樹脂筐体用真空スパッタリング工場建設

DIGITIMES 29-3-2011

ノートパソコン用プラスチック筐体のEMI(電磁波シールド)真空スパッタリング加工大手の柏騰科技(Paragon Technology)は、中国内陸部の重慶市及び四川省内江市にそれぞれ300万米ドルを投じて新工場を建設することを明らかにした。

同社は、重慶市及び内江市に進出する理由について、ユーザーが同地に進出することから、ユーザーの現地工場に対してより速いサービスを提供するためとしている。最大のユーザーであるノートPC用プラスチック筐体最大手の巨騰(Juteng)が、内江市に年産能力3600万セットの新工場を建設していることから、巨騰からの進出要請があったと見

られている。

## 【液晶パネル】TCL、8.5G 液晶パネル生産設備の搬入据付完了 4Q 量産

2011/3/29 上海証券報

中国地場の大手液晶テレビメーカーである TCL 集団の 8.5 世代液晶パネル生産事業、華星光電有限公司は 28 日、計画よりも 1 ヶ月早く、8.5 世代液晶パネル生産設備の搬入据付を完了したことを明らかにした。

華星光電は、昨年 3 月にくい打ち、昨年 12 月に 60 万平方メートルの主力工場建屋を完成させており、今年 10-12 月の量産開始を予定している。TCL 集団シニア副総裁、華星光電 CEO の賀成明氏は、日本の大震災の影響で一部の設備納入が遅れているが、今年 10-12 月の量産開始を変更するほどの大きな影響は出ていないとしている。

## 【タッチパネル】勝華、ベトナムに 1.5 億米ドルを投じてタッチパネル工場を建設

2011-3-29 中国半導体産業協会

アップル iPhone 用タッチパネルを供給しているタッチパネル大手の勝華科技 (Wintek) は、コストダウンの一環として、ベトナム北部に 1.5 億米ドルを投じてタッチパネル等を生産する新工場を建設することを明らかにした。ベトナム北江省工業区管理局の NguyenVanHien 氏によると、勝華科技のベトナム工場は iPhone 及び iPad 用タッチパネルの生産も行う計画。

ベトナム技術投資基金 DFJ 執行董事の ThanTrongPhuc 氏は、多くの多国籍企業が中国以外の国・地域に新たな生産拠点を構築することで、投資の分散、コストの削減を図っている、勝華科技のほか、ノキア、インテル、キャノンといった大手ブランドメーカーもベトナムに新工場を建設することを明らかにしている。ノキアは今月初めにハノイに 2 億ユーロを投じてローエンド携帯電話を生産する工場を建設することを明らかにしている。

勝華科技の広報担当、黄忠傑氏は、ベトナムの人件費は中国の 33-40%、インフラも整備されてきたことから、ローエンド製品については、ベトナムで生産する方がコスト面で有利と判断したことを明らかにしている。一方、ミドルエンド製品及びハイエンド製品については、今後も中国内地で生産することを明らかにしている。

同氏は、勝華科技のベトナム工場は、早ければ今年 7-9 月にも生産を開始する見通しで、年産能力は薄膜トランジスタモジュール 1000 万個、タッチパネルモジュール数百万台としている。

## 【太陽電池】北京易光達、徐州市に年産 1GW の太陽電池セル工場建設

中国新聞網 2011-3-29

中国地場の光ファイバメーカーである北京易光達科技發展有限責任公司是、中国江蘇省徐州市経済技術開発区に 25 億元を投じて、年産 1 ギガワットの多結晶シリコン太陽電池

セル生産基地、及び薄膜アモルファスシリコン太陽電池セル生産基地を建設することで契約を締結した。

北京易光達科技は、既に現地に事業会社、漢元新能源有限公司を設立しており、今年12月には稼働させる計画。徐州市は、中国最大の太陽電池生産基地となっており、2-3年後には同市の太陽電池年間生産高は120億元を超える見通し。

## 【半導体】中芯国際、北京工場に460億元投じ12インチ生産能力拡張

維庫電子市場網 2011-3-29

世界第4位の半導体ファウンドリ、中芯国際（SMIC）は、460億元を投じて北京工場の拡張を行うことを明らかにした。

中芯国際は先般、新たな5ヵ年計画で120億米ドルを投じて年産能力を12インチ半導体200万枚に拡張することを明らかにしている。中芯国際は、北京、上海、武漢に12インチ工場を保有している。

## 【半導体】台積電、上海松江工場を拡張 月産能力を現在比2倍に

2011-03-29 台湾経済日報

世界最大の半導体ファウンドリ、台積電（TSMC）は、来年末までに上海松江工場の月産能力を8インチウエハ換算で7.5万枚拡張することを明らかにした。上海松江工場の現在の月産能力が8インチウエハ換算3.5万枚であるので、来年末には上海松江工場の月産能力は8インチウエハ換算11万枚となる見通し。

## 【PCB】方正、業態転換を加速 今後3年でPCB事業に60億元投入

2011-3-28 中国PCB産業協会

中国地場の大手IT機器メーカーである方正科技（Founder）は、昨年の売上高が81.68億元で、前年比4.86%増、純利益が2.4億元で、同145.76%増となったことを明らかにした。

純利益が前年比145.76%増となったことについて、主にパソコン事業の無形資産を宏碁（Acer）に売却したことに伴う収益であることを明らかにしている。宏碁は昨年8月に1.2億元で方正科技のパソコン事業を吸収合併したほか、6750万米ドルで方正科技の親会社である方正集団から、方正、Founder等の商標権を獲得している。

方正科技の主要事業は、方正ブランドのパソコン製品及び周辺機器の製造販売、IT製品の流通、プリント配線基板（PCB）の製造販売であるが、パソコン製品及び周辺機器事業は売上高が65億元あるものの、営業利益率は4%前後に低迷している。一方、PCB事業は売上高は15.33億元であるものの、営業利益率は10%以上に達している。

方正科技は、低収益のパソコン事業については、米国のIBMが取ったようなサービスプロバイダへの業態転換を図るとともに、高収益のPCB事業については、今後3年間に60億元を投じて、売上高100億元を目指すことを明らかにしている。

## 【CCL】聯茂/台光、最高業績を背景に中国内地での生産拡張を加速

PCB 信息网 2011-3-29

PCBの原材料である銅箔張り積層板(CCL)メーカーの多くが、2010年に過去最高を達成したことから、生産規模の拡張を加速させており、台湾最大のCCLメーカーである南亜(Nanya)が大幅な生産拡張を進めているほか、同業大手の聯茂電子(ITEQ)も、主力ユーザーであるプリント基板大手の健鼎科技(Tripod)の湖北省仙桃市進出に伴って、湖北省仙桃市に協力工場を建設することを決めている。聯茂電子は、南亜、台光電子材料(EMC)に次ぐ生産能力を持つメーカーとなっており、現在、中国の昆山市、広東省中山市に工場を展開、総月産能力は200万枚に達している。

台光電子材料も、昆山光電園区内に新たな工場を建設しており、今年11月には月産能力30万枚の新生産ラインが稼働する予定で、台光電子材料の総月産能力は230万枚に達する。台光電子材料は昨年、目標の100億NTDを大幅に超える前年比36.5%増の134.66億NTDの売上高を達成していることから、生産能力の拡張も他社以上に積極的に進めている。

## 【電池】長虹、綿陽に4億元投じ動力用リチウムイオン電池生産ライン建設

華西都市報 2011-3-28

中国地場の大手テレビメーカーである四川長虹(Changhong)は21日、100%子会社である長虹電源を綿陽市経済開発区長虹工業園に移転するとともに、同地区に動力用リチウムイオン電池生産ラインを建設することを明らかにした。総投資額は4億元を超える見通し。

移転及び拡張工事が完成すれば、長虹電源の年産能力は、リチウムイオン電池1500万アンペアアワー、ニッケルカドミウム電池4000万アンペアアワー、電源システム4000万セットに達するとしている。

## 【磁性材料】広晟有色、梅州市平遠県にネオジム磁性材料工場を建設

鳳凰網 2011-3-30

中国有色金属工業集団傘下の広東省広晟有色金属集団は、広東省梅州市(右地図)平遠県に同地域のレアアース資源を活用したネオジム磁石生産プラントを建設することを明らかにした。今年4月に着工、第1期の投資額は2.6億元としている。年産能力はネオジム磁性材料3000トン、研磨粉2000トン、マグネシウム系水素化合物2000トンで、完成後の年間生産高は35億元に達する見込み。

広晟有色金属集団は、2000年に平遠県に90%出資で華企稀土実業有限公司を設立、混合レアアースの採掘を行なっている。平遠県内の仁居鎮には、2つのレアアース鉱山があ





り、総埋蔵量は379.06万トンに達すると見られている。また、広晟有色金属集団は、仁居鎮以外の地域でも既に埋蔵量230万トン相当のレアアース鉱山の開発にも成功している。

中国銀行アナリストの楽宇坤氏は広晟有色金属集団に関する調査レポートで、同集団傘下の平遠華企稀土実業有限公司が採掘を行なっている2つのレアアース鉱山には、抽出が容易なイオン吸着型の重希土類元素の埋蔵量が豊富で、その利権を独占している広晟有色金属集団の成長性が期待できると高く評価している。

また、現在入札を行っている広東省新豊県のレアアース採掘権についても、業界関係者は、広晟有色金属集団の大株主が広東省国有資産委員会であること、既に広晟有色金属集団が広東省内の4つのレアアース採掘権のうち2つを獲得していることから、広晟有色金属集団が新豊県の採掘権も落札する可能性が大きいと見ている。

広東広晟有色金属：www.gdnmi.com.cn/

707号 4月4日

## 【EMS】富士康国際、通年で初の赤字 廊坊等への大規模移転決定

DIGITIMES 31-3-2011

世界最大のEMSメーカーである鴻海集団 (Foxconn) 傘下の携帯電話 OEM メーカー、富士康国際 (Foxconn International Holdings) は、昨年通年の業績が、最終的に2億1800万米ドルの大幅な赤字となったことを明らかにした。一昨年は3860万米ドルの黒字を確保したが、止まらない人件費の上昇、比亞迪 (BYD) 等の中国地場メーカーの台頭、スマートフォン事業で出遅れたこと等の影響を吸収することが出来ず、赤字に転落した。昨年通年の売上高も、前年比8.2%減の66億米ドルにとどまった。

富士康国際は、赤字決算となった理由について、携帯電話 OEM メーカー間のグローバル競争が激化しており、携帯電話 OEM 市場でシェア、売上高を伸ばすことが難しくなっている、また価格の下落で収益が大きく圧迫されていると説明している。

富士康国際は、赤字脱却のため、生産コストが高い珠江デルタ、長江デルタにある生産基地の生産能力を縮小し、生産コストが低い河北省廊坊 (Langfang)、北京、天津の生産能力を拡張することを明らかにしている。富士康国際は、赤字転落を契機に、生産拠点の再配置を本格的に議論し、生産拠点の大規模移転を決定したことを明らかにしている。また、富士康国際は、出遅れていたスマートフォンの ODM 事業に一定の進展が見られることから、今年はスマートフォン市場の成長を取り込むことが出来る見通しで、既にノキア、モトローラ、ソニーエリクソンから ODM 契約を獲得していることを明らかにしている。

## 【液晶パネル】南京中電熊猫、第6世代液晶パネル生産ラインを正式稼働

2011-3-31 中国半導体産業協会

中国電子情報産業集団 (CEC)、南京市人民政府が大株主となっている中国地場の大手テレ

ビメーカー、南京中電熊貓 (Xiongmao) は3月30日、17ヶ月に及ぶ設計、施工、搬入据付、試運転を経て、南京経済技術開発区の中国南京液晶バレーに建設していた第6世代液晶パネル生産ラインを完成、正式に稼働させたことを明らかにした。

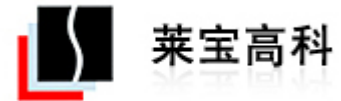
中国は昨年、世界最大の液晶テレビ消費国となったが、2012年には、中国国内にある4億台のCRTテレビが買い替え時期に入ることから、今後数年で米国、日本を大きく引き離し、圧倒的規模の液晶テレビ市場となることが予想されている。その一方で、液晶テレビの中核部材である大型液晶パネルの殆ど全てを海外からの輸入に依存していることから、中国政府は電子情報産業振興計画を策定し、中国地場メーカーの大型液晶パネル生産事業への投資を奨励している。

中国電子情報産業集団、南京市政府、シャープは2009年8月に北京で、中国電子情報産業集団が投資主体となって、南京熊貓の生産基地を活用し、第6世代以上の液晶パネル生産ラインを建設することで合意、シャープの亀山工場第6世代液晶パネル生産ラインを再利用する形で、中国南京液晶バレーに第6世代液晶パネル生産ラインの建設を進めてきた。

## 【タッチパネル】莱宝、静電容量式タッチパネル生産拡張急ぐ 業績をけん引

2011-03-31 新浪財經

中国深圳市の大手 ITO 導電ガラス、カラーフィルタメーカーで静電容量式タッチパネル事業にも参入している莱宝高科 (Laibao Hi-Tech) は、タッチパネル事業が予想以上に好調



だったことから、昨年の売上高が11.46億元で前年比80.17%増、営業利益が5.26億元で前年比138.95%増、純利益は4.51億元で同155.35%増となったことを明らかにした。また、主要事業の粗利益率が55.08%で前年比11.94ポイント上昇、中でも昨年10-12月の粗利益率は58.88%に達したことも明らかにした。静電容量式タッチパネル生産設備の稼働率は95%以上を維持、中小型タッチパネルの生産能力は月間6万枚に達している。

DisplaySearchによると、2011年の世界のタブレットPCの出荷量は前年比2倍の5570万台に達し、2014年にはその出荷量は1億7240万台に達すると見られており、莱宝は中大型静電容量式タッチパネルの生産能力の拡張を急いでおり、既に一部の拡張用輸入設備が搬入据付され、試運転を開始しているという。

一方、ITO導電ガラス及びカラーフィルタの生産設備の稼働率も90%以上を維持しているという。そのうち、ITO導電ガラス製品はハイエンドの製品を主力としていることから高収益を獲得しているが、カラーフィルタ製品は市場が成熟していることから価格下落の影響を受けていることを明らかにしている。

莱宝は2011年、2012年、2013年の売上高をそれぞれ17.50億元、26.23億元、33.39億元、純利益をそれぞれ7.55億元、11.58億元、14.26億元としており、今後数年間は大幅な増収増益が続くと予想している。莱宝：www.laibao.com.cn/

## 【タブレット】联想/華碩、中国でタブレット販売開始 500米ドルが主戦場

2011-3-31 中国半導体産業協会

世界第4位、中国内地首位のノートPCブランドメーカーである联想集团(Lenovo Group)、同第5位の華碩(Asustek)は、中国内地でタブレットPCの販売を正式に開始、中国内地市場を巡るアップルiPadとの競争が本格的に始まった。

联想のLe Pad、華碩のEee Pad Transformerはどちらも10インチのパネルを搭載、グーグルのAndroid OSを採用、販売価格もほぼ同水準に設定されている。Wi-Fi機能、16Gメモリを搭載しているLe Padの販売価格は3500元(約533米ドル)、華碩の16Gメモリ搭載のタブレットPCの販売価格は505米ドルとされている。

16Gメモリを搭載したアップルiPad 2、4月19日に北米で販売開始されるResearch In Motion(RIM)のPlayBookは、どちらも500米ドルの価格設定を行っており、500米ドルがタブレットPCの主戦場となっている。一方、モトローラのXoomは他社に比べやや高めの600米ドルに価格を設定している。

市場関係者は、联想が投入したタブレットPCの機能は、競合メーカーの製品とほぼ同スペックであり、差別化はできていないものの、联想が中国内地市場で他社を圧倒する販売網を有していることから、中国移动などの大手移動通信キャリアと提携すれば、联想が目標としている3年以内に中国内地のタブレットPC市場でノートPCと同水準のシェアを獲得することは難しくないとしている。大手IT市場調査機関IDCによると、昨年10-12月の中国内地のパソコン販売台数は1570万台、そのうち联想のシェアは32.2%に達している。

一方、華碩のTransformerは、機能及び性能でLe Padに比べ見劣りするほか、厚さも12.98ミリでiPad2の8.8ミリに比べ4ミリ以上も厚いことが売上に響く可能性があるとの指摘が出ている。

## 【タブレット】E Ink、タブレットLCM製造の揚州子会社に800万米ドル増資

DIGITIMES 31-3-2011

電子書籍リーダー用電子ペーパー(EPD)最大手の元太(Prime View)傘下のE Ink Holdings(EIH)は、タブレット型パソコン用液晶モジュールを生産する中国内地の子会社、川奇光电科技(揚州)有限公司(Transcend Optronics Yangzhou)に800万米ドルの増資を行なうことを明らかにした。

## 【スマートフォン】IDC、今年の世界のスマートフォン出荷量4.5億台を超えると

2011-03-31 IDC

IT市場調査機関大野IDCは3月29日に発表した調査レポートで、今年の世界のスマートフォン出荷量が、成長率は昨年の74%を下回るものの、前年比48%増の4.5億台に達するとの見通しを明らかにした。

IDCは、グーグルのAndroidシステムの市場シェアが今年には20%以上に達し首位になる

とも予測、その他のOSのシェアについては、アップル iOS の今年の市場シェアは16%、RIM の Blackberry のシェアは14.9%、マイクロソフトの Windows Phone 7 のシェアは5.5%と予測している。

また、ノキアが Windows Phone の採用を後押ししていることから、2015年には Windows Phone のシェアは20.9%まで拡大し、アップルの iOS を抜いて Android に次ぐ世界第2位にスマートフォンOSになるとしている。

## 【バックライト】中強、PMMAシート製造の南京子会社に950万米ドル増資

DIGITIMES 31-3-2011

バックライト及びDLPプロジェクタ大手の中強光電 (Coretronic) は、光学用PMMAシート及びライトガイドを生産している中国南京市にある子会社、Nano Precision (Nanjing) に950万米ドルの増資を行なうことを明らかにした。

中強光電は現在、Nano Precision の54.41%の株式を保有している。

## 【太陽電池】宏威、東莞に131億元投じ薄膜太陽電池生産基地建設

南方報網 2011-3-31

中国広東省東莞市の光ディスクメーカーで太陽電池及び有機EL事業にも参入している宏威集団 (Anwell) は、東莞市東部工業園南城園区にアモルファス薄膜太陽電池生産基地の建設を正式に開始した。総投資額は131億元に上る。



世界の太陽電池市場は、2007年の2.5ギガワットから昨年の16.2ギガワットに急拡大、そのうち、低コストのアモルファス薄膜太陽電池の占める比率は3年前は12%だったが、今年は30%まで上昇すると見られている。

宏威集団は薄膜太陽電池を独自に開発した製造設備で生産する計画で、13本の生産ラインを建設するとしている。完成すれば、年産能力は1.56ギガワット、年間売上高150億元に達する見込み。宏威：[www.anwell.com/eng/index.htm](http://www.anwell.com/eng/index.htm)

## 【太陽電池】天合、今年の太陽電池モジュール出荷量前年比70%増予想

2011-3-31 索比太陽能

中国常州市の大手太陽電池メーカーである天合光能 (Trina Solar) 董事長の高紀凡氏は、今年の太陽電池モジュール出荷量が前年比70%増の1.75-1.85ギガワットに達する見通しを明らかにした。

また、中国科学院上海微系統信息技术研究所と戦略的パートナーシップを締結し、共同で3年以内にエネルギー転換効率20%以上の太陽電池を開発することも明らかにした。

## 【太陽電池】中国2月多結晶シリコン輸入量、春節連休で前月比40%減



2011/3/31 国際新能源網

中国の今年2月の多結晶シリコン輸入量は3316トンで、前年同月比25.3%増となったが、春節連休及び冬季定期検査の影響で前月比では39.9%の減少となった。なお、今年2月の多結晶シリコン輸出量は75トンだった。

## 【半導体】Spansion、一部 ODM を TI 会津から中芯国際武漢に転注

2011-03-30 台湾工商時報

NORフラッシュメモリ大手の米国Spansionは、ODMパートナーであるテキサスインスツルメンツ（TI）会津工場が東日本大震災の影響で操業が一部停止していることから、安定したODM生産能力を確保するため、一部ODMを半導体ファウンドリ世界第4位の中芯国際（SMIC）に転注するとともに、中芯国際傘下の武漢新芯12インチ生産ラインの一部を確保したことを明らかにした。確保した生産ラインからは、月間3000-5000枚の供給が可能だという。なお、中芯国際は現在、460億元を投じて北京に3つ目の12インチ半導体工場を建設する計画を進めていることを明らかにしている。

Spansionは昨年7月、Spansion日本法人が保有する会津若松の8インチ及び12インチ工場をテキサスインスツルメンツ（TI）に売却するとともに、NORフラッシュメモリのODMをTIに発注することで正式に契約を締結している。

一方、中芯国際傘下の武漢新芯は、当初は湖北省政府、武漢市政府等が共同出資し設立した12インチ半導体生産企業で、中芯国際が武漢市政府に代わり運営管理を行、SpansionからNORフラッシュメモリのODMを受注していたが、Spansionが2008年のリーマンショックの影響で破産法保護を申請したことから稼働率が低迷、赤字経営が続いていた。市場からは、武漢市政府が武漢新芯を台積電（TSMC）もしくはマイクロロンに売却するとの観測も出ていたが、最終的に中芯国際と武漢市政府の共同出資で決着する打開策が取られた。

708号 4月6日

## 【ノートPC】宏碁、タブレットPC台頭で業績下方修正 事業再構築を決定

DIGITIMES 1-4-2011

ノートパソコン世界第2位の宏碁（Acer）董事長の王振堂（JT Wang）氏は、タブレットPCの台頭に伴って民生用ノートパソコン及び小型のNetbookの販売が予想以上に打撃を受けていること、現在の宏碁経営陣がその打撃への効果的な対応を打ち出せていないとして、Gianfranco Lanci氏がCEO職を退き、暫定的に王振堂氏がCEO職を代行することを明らかにした。また、4月末までに新CEOを選出することも明らかにした。

宏碁の欧州地区総裁Walter Deppler氏、北米地区総裁Emmanuel Fromont氏、中国地区総裁Oliver Ahrens氏、Chief Marketing OfficerのGianpiero Morbello氏については、留任とすることを明らかにしている。

王振堂氏は、Lanci氏のCEO辞任に伴う対応として、タブレット型パソコンの今年の出

荷目標を修正するかについては、当面は当初からの500-700万台の出荷目標を変更する考えはないことを明らかにした。

## 【ノートPC】仁宝、宏碁の業績悪化のマイナス影響を最も受ける見通し

台湾経済日報 2011.04.04

ノートパソコン世界シェア第2位の宏碁（Acer）の業績悪化とそれに伴うLanci氏の辞任が、宏碁の主力ODMパートナーである仁宝（Compal）、広達（Quanta）にも大きな影響を及ぼす可能性が出てきた。ランチ氏の辞任により、宏碁が今後、部材の調達、ODMの方針、販売戦略を改めて策定することを決めており、その中でODM発注量が大幅に削減される可能性もあると見られている。一方、宏碁向け出荷比率が同2社に比べ小さく、ノートパソコンODM事業依存からの脱却を図っている緯創（Wistron）は、宏碁の業績悪化の影響はそれほど大きくないとしている。

宏碁のノートパソコン及びタブレットパソコンは、主に仁宝、広達、緯創にODM発注され生産されているが、中でも仁宝が宏碁の最大のODMパートナーとなっている。また、スマートフォンのODMについても、仁宝系列の華宝（Compal Communications）が主力パートナーとなっている。

仁宝は、宏碁の今年1-3月の売上高が当初の前年同期比増から一転、前年同期比減に下方修正されるとともに、4-6月についても横ばいが続く見通しを示したことを受けて、今年の出荷量見通しを改めて策定する必要がある、下方修正も否定できないとの見方を明らかにしている。

仁宝は、宏碁が販売低調を理由にODM発注に慎重になっている、4-6月の受注は例年であれば1-3月を大幅に上回るが、今年は伸びが小幅にとどまる可能性が高いとしている。市場関係者は、宏碁の業績悪化は、ノートパソコン市場がタブレット型パソコン市場により侵食されている背景によるもので、短期的には改善は難しい、今年の民生用ノートパソコンの世界出荷量は前年比2%前後のマイナスとなる可能性があるとして指摘している。こうした指摘が出る中、宏碁、仁宝、広達のほか、宏碁と同業態の華碩（Asus）、ノートパソコンODMメーカーの和碩（Pegatron）、ノートパソコン用キーボードの群光（Chicony）、ノートパソコン用バッテリーの新普（Simple）等の株価が軒並み下落基調に転じているという。

## 【ノートPC】台湾のノートPC部品産業、タブレット台頭に伴う業態転換急ぐ

台湾経済日報 2011.04.05

タブレット型パソコンの台頭は、これまでインテル&マイクロソフトスキームで急成長してきた台湾のパソコン部品メーカーに初めてともいえる深刻なダメージを与える可能性が出ている。

タブレット型パソコンに必要な部品は、ノート型パソコンに比べ約5割減となることから、タブレット型パソコンがノートパソコンに取って代わる状況が今後も進展していけば、世界の6大ノートパソコンODMメーカーが集中する台湾のノートパソコン部品産業

には深刻な打撃となる。

アップル iPad を筆頭とするタブレット型パソコン製品は、その根本的な設計哲学に使用部品を極小化するというコンセプトがあることから、これまでのノート型パソコンの使用部品を極大化するという設計とは全く逆方向のコンセプトを提示している。そのため、従来からのノートパソコン部品産業には大転換を迫るものであり、タブレット型パソコンブームがもたらすこの新しいコンセプトに適応しなければ、これまで保有してきた市場を一瞬にして失う危険も孕んでいる。中でも、タブレット型パソコンが、ふたなし、キーボードなし、放熱ファンなし（簡単なヒレ型ラジエーターで済ませている）であることから、キーボード、ヒンジ、放熱ファン等を生産する台湾メーカーには予想以上の打撃を生む可能性が指摘されている。

さらに、クラウドコンピューティングの普及が進む中、光ディスクプレーヤー等の外部周辺機器も不要となる可能性があり、外部周辺機器を本体につなぐコネクタの使用量も大幅に減少することが予想されている。

一方、タブレット型パソコンの台頭は、タッチパネル、カメラモジュール、アンプ、スピーカ、WiFi 関連機器等の新たな部品のニーズも生んでいることから、一部の台湾のノートパソコン部品メーカーは既にこうした新たなニーズを持っている部品への業態転換を加速しているという。

## 【液晶パネル】寧波奇美電子、中国国内販売比率が 40%近くに達する

2011-03-31 台湾経済日報

中国浙江省寧波市は、台湾系企業が 2358 社密集している地域であり、既に 180.5 億米ドルの資金が投下されているが、リーマンショック以降、輸出同様に中国国内販売を重視する企業が増えているという。

寧波市で液晶モジュールを生産する奇美電子（CIC）は、リーマンショック後、月間生産量が従来の 460 万台から 150 万台に激減したことから、中国国内販売を強化、中国地場の大手テレビメーカー、海信（Hisense）、TCL、長虹（Changhong）等との提携を進めていることで、売上確保を図っている。中国国内販売の強化により、奇美電子の売上高全体に占める中国国内販売比率が既に 40%近くに達しており、中国国内のテレビ用大型液晶パネル市場シェアも 40%に達している。

## 【バックライト】瑞儀、iPad 恩恵を間接享受 売上高の過去最高更新続く

2011-04-02 中華液晶網

台湾の大手バックライトモジュールメーカーである瑞儀光電（Radiant Opto-Electronics）は、アップル iPad 2 のパネルを



供給している三星から大量のバックライトモジュールを受注したことを明らかにした。瑞儀の今年 2 月の売上高は、ノートパソコン用バックライトモジュール及び TV 用バックライトモジュールの出荷が伸びたことから、月間売上高が過去最高を更新、今年 1-2 月の連結売上高は 92.42 億 NTD で、前年同期比 51.6%増となっている。

ノートパソコン及びテレビ用バックライトモジュールの受注好調は今後も続く見通しで、3月の売上高が2月を上回る可能性が大きいとしている。また、1-3月の売上高は145億NTD、税後利益は8億NTDに達し、昨年同期の4.38億NTDのほぼ2倍となる見通し。なお、同社の昨年通年の連結売上高は483.12億NTDで、前年比40%増、税後利益は26億NTDだった。

## 【LED】泰谷、南京に1.7億米ドル投じLEDエピタキシャル生産プラントを建設

DIGITIMES 1-4-2011

台湾の大手LEDチップメーカーである泰谷光電(Tekcore)は、南京市の経済技術開発区に1億6700万米ドルを投じて、LED用エピタキシャルウエハ生産プラントを建設することを明らかにした。既に現地に泰谷光電科技(南京)有限公司を設立済み。中国内地のLED照明製品向けにLEDチップを供給する。

## 【太陽電池】晶澳、今年上期はシリコン価格高騰による収益圧迫が続くと

2011-4-2 索比太陽能

世界最大の太陽電池メーカーとなった中国晶澳太陽能(JA Solar)は、今年上期は原材料のシリコン価格の高騰が続くことから、収益を圧迫されるものの、今年下期には中国国内のシリコン材料の新たな生産能力が相次いで稼働することから、シリコン材料価格の高騰が収まり、収益も好転するとの見通しを明らかにした。

同社CEOの方朋氏は、川上では原材料価格の高騰、川下では欧州の太陽電池市場の不透明があり、収益を圧迫されているが、原材料市場については、今年下期には現在建設されているシリコン材料生産ラインが稼働してくることから、価格の高騰には一服感が出てくるとの見方を示した。

## 【生産統計】IT機器メーカーの集積形成 深圳工業100強の7割占める

2011-03-30 深圳特区報

華為(Huawei)、中興(ZTE)、創維(Skyworth)等の中国地場、富士康(Foxconn)等の台湾系、リコー等の日系の電子メーカーが、中国深圳市に世界有数の生産基地を建設してきたことが、深圳市のIT産業の一大集積を形成、深圳市の工業100強企業のうち、7割をIT機器メーカーが占め、深圳市の工業10強企業のうち、8社がIT機器メーカーとなったことが明らかになった。

アップル、ノキア、モトローラ、ソニー、フィリップス等の世界的ブランドのパソコン、携帯電話、液晶テレビの大部分が、深圳工業100強企業により生産されていることから、深圳市は世界のIT機器市場に大きな影響力を持っているという。中でも、EMS世界最大手の富士康の深圳龍華工場は、1日に1億米ドルの製品を世界各地に出荷しており、アップルのiPod、iPhone、iPadも、富士康の深圳龍華工場で最終組み立てが行なわれている。深圳龍華工場は、世界最大のタブレット型パソコン、スマートフォンの組み立て工



場となっており、深圳電子商会によると、深圳市から世界各地に輸出される IT 機器の数量及び速度が、世界の IT 機器価格に大きな影響を及ぼしているという。

華為、中興等の中国地場の IT メーカーの躍進も著しい。最新の携帯電話出荷量ランキングで、深圳に本社を置く中国地場の華為、中興が上位 10 社に入ることが明らかになっている。深圳市の統計によると、華為、富士康傘下の富泰華の昨年の生産高はどちらも 1000 億元を超えており、深圳工業 100 強企業の 1 位、2 位にランクされる超重量級企業となっている。

このほか、中国地場の大手パソコンメーカーである長城科技 (Great Wall)、中国地場の大手液晶テレビメーカーである康佳 (Konka)、創維 (Skyworth) も、深圳工業 100 強企業で上位にランクされているほか、組み込み型プラットフォームを開発している研祥 (Evoc)、カーナビメーカーである航盛 (Hangsheng) といったベンチャー系企業も深圳工業 100 強企業の新しい顔となっている。

こうした IT 機器メーカーの集積は、技術の革新を促進しており、深圳市で昨年 1 年間に申請された特許は 4 万 9430 件、そのうち発明特許が 2 万 3956 件を占めた。また、昨年の PCT 国際特許の申請も 5584 件に上り、中国全国の申請件数の 43% を占めている。

## 【PCB】健鼎、宏碁の業績悪化に伴って PCB 受注が減少していると

台湾経済日報 2011.04.04

ノートパソコン世界シェア第 2 位の宏碁 (Acer) が、2 度にわたって業績見通しを下方修正し CEO が辞任したことが、宏碁の関連プリント配線基板 (PCB) メーカーにも大きな波紋を広げており、ノートパソコン用 PCB 最大手の瀚宇博徳 (Hannstar Board) は受注見通しを変更する予定はないとしているものの、宏碁に対する依存率が高い定穎 (WUS)、健鼎 (Tripod) 等は発注が削減されることへの強い懸念を示している。そのうち、健鼎は既にノートパソコン用 PCB の受注が既に減少していることを明らかにしている。

中堅のノートパソコン用 PCB メーカーは、ブランドメーカーの業績悪化の影響を最も受けやすく、宏碁が今後策定する経営方針を注視していきたいとしている。

一方、瀚宇博徳は、タブレット型パソコンがノート型パソコン産業に大きな影響を与えていることは事実だが、消費者にとってタブレット型パソコンはノート型パソコンの次に位置する第 2 の選択肢であるということもまた事実であり、ノート型パソコン市場は減速はするものの、今後も一定の成長を持続していくとの見方を示している。

これに対して、健鼎は、ノートパソコン用 PCB の受注は、スマートフォン及びタブレット PC 用ビルドアップ基板に比べ明らかに低調であり、ノートパソコン用 PCB 生産を総生産能力の 1 割前後に抑制することを明らかにしている。また、一部の PCB メーカーでは、ノートパソコン用 PCB の発注価格が低く、収益性が低いことから、ノートパソコン用 PCB の受注を控える動きも出ているという。

709号 4月8日

## 【液晶TV】TCL、ウルムチ開発区に3本のLED液晶テレビ生産ラインを建設

2011-4-6 中国半導体産業協会

中国地場の大手液晶テレビメーカーである TCL 集団股份有限公司は1日、新疆ウイグル自治区ウルムチ市の経済技術開発区(頭屯河区)管理委員会と、同区に TCL 新疆産業園建設、新疆 TCL 能源有限公司設立で合意、正式に契約を調印したことを明らかにした。

TCL 集団は、経済発展が続く新疆ウイグル自治区の市場を取り込むため、TCL 新疆産業園に第1期で3本のLED液晶テレビ生産ラインを建設する計画で、完成すれば、年間100万台の液晶テレビを出荷できる見通しを示している。

## 【液晶パネル】日立、スマートフォン用4型液晶パネル生産を奇美電子に委託

2011-4-6 中国半導体産業協会

日立製作所傘下の日立ディスプレイズ (Hitachi Displays) は6日、福島原発事故に伴う計画停電の影響で、今後相当量の液晶パネルの生産を世界第4位の大型液晶パネルメーカーである台湾の奇美電子 (CIC) に委託することを明らかにした。

日立ディスプレイズが奇美電子に生産委託するのは、スマートフォン用の4インチ液晶パネルも含まれる見通しで、奇美電子の出荷開始時期は8月頃になるとしている。

## 【太陽電池】晶澳、ジェイビルに2年で400MWの太陽電池モジュール供給

2011-4-6 中国半導体産業協会

世界最大の太陽電池メーカーとなった晶澳太陽能 (JA Solar) は、大手EMSメーカーであるジェイビル (Jabil Circuit) と期間2年の戦略的パートナーシップ契約を締結したことを明らかにした。

晶澳太陽能は契約期間内に、ジェイビルに対して400メガワットの太陽電池を供給、一方、ジェイビルは晶澳太陽能の授権によりメキシコ、フィンランド、中国内地で年間200メガワットの電池モジュールを生産、主に米国市場向けに販売する。ジェイビルは今年7-9月に太陽電池モジュールの生産を開始する予定。

## 【太陽電池】賽維 LDK、3300万米ドル投じた米 SPI 社の買収手続完了

2011-4-6 中国半導体産業協会

中国第2位の太陽電池用多結晶シリコンウエハメーカーである江西賽維 LDK 太陽能高科技有限公司は1日、今年1月の1000万米ドルの手付金払い込みに続いて、4月1日に2300万米ドルの残金の支払いが完了したことにより、米国の大手太陽光発電システムメーカーである Solar Power Inc (SPI) の70%株式取得手続が完了したことを明らかにした。

賽維 LDK 董事長兼 CEO の彭小峰氏は、SPI の獲得により、川下の垂直整合が進み、北米

市場の開拓が進む、北米市場での競争力も増すことになるとしている。

## 【太陽電池】伊政府、太陽光発電補助金削減で3年の移行期間を設置

2011-04-06 PV-Tech 機遇と挑戦、Edilportale

世界第2位の太陽電池市場であるイタリア市場が、イタリア政府の補助金見直しが頓挫している影響で不透明感が広がる中、イタリア政府は今後3年間の移行期間を設けて補助金を段階的に削減する方針をほぼ固めたことが明らかになった。また、イタリア政府は太陽電池産業に対して、69億ユーロの発展基金を拠出する方針であることも明らかになった。

イタリア政府が近く発表する段階的削減策は、2011年に現行の補助金の10%を削減、2012年に2011年に10%削減した金額をベースにさらに10%を削減、2013年に2012年の金額をベースにさらに15-20%を削減することで、2014年には補助金を現行補助金の半分にするというものだという。

イタリア政府は1ヶ月前に8ギガワットの太陽光発電設備建設を含む太陽光発電促進法案を却下したことから、太陽電池産業界に大きな混乱が起き、事態の收拾を迫られていた。太陽光発電に対する補助金削減策は、今年6月1日から正式に実施される見通しだという。

また、イタリア環境省長官 Stefania Prestigiacomo 氏は、イタリア国内の太陽光発電システムメーカーに対して、6月1日までに事業を完了できない案件についても、基本的に従来規定に基づき補助金を支給する方針であることを明らかにしている。

## 【LED】台湾LEDメーカー、技術的突破を通じて中国内地市場進出加速

2011-4-6 中国半導体産業協会

晶元 (Epistar)、璨円 (Forepi)、新世紀 (Genesis) 等の台湾のLEDチップメーカーは、高輝度LEDチップの技術的ブレークスルーに成功したことに加え、低コストの中国内地LED実装メーカーとパートナーシップを築くことで、欧米メーカー及び日本メーカーが独占してきた中国内地市場の切り崩しに成功しており、相次いで中国内地市場で大口径LED照明受注を獲得していることが明らかになった。

業界関係者によると、ここ数ヶ月、米国 Cree、欧州 Osram、Philips Lumileds、日本 Nichia 等の大手LEDチップメーカーが、中国内地の高輝度LED市場で台湾メーカーに受注を奪われるケースが増えているという。背景にあるのは、台湾のLEDチップメーカーのLEDチップの発光効率での大幅なブレークスルーであり、中国内地の低コストのLED実装メーカーとの強力な協力関係にあるという。台湾のLEDチップメーカーは、高輝度LED照明を従来困難といわれた低価格で提供することで、世界の手頃なLEDチップメーカーの市場を奪うことが可能となっている。

新世紀光電董事長の鐘寛仁氏は、青色LED技術で大きなブレークスルーに成功、純青色LEDチップで1ワット150ルーメンを達成したことを明らかにした。晶元光電も先日、台湾の4大LEDチップメーカーが相次いで中国内地の実装及びLED照明モジュールメー

カーと提携する動きを見せており、中国内地のLED照明市場での売上高を伸ばしている、台湾のLEDメーカーの今年1-3月の売上高は何れも前年同期を大幅に上回る実績を上げているという。

## 【LED】IMS、LED市場が再加速 中国のMOCVD需要が世界の7割超

2011-04-06 高工 LED 機遇と挑戦

市場調査機関 IMS Research の今年1-3月のGaN LED需給レポートによると、2011年のLED供給量は、昨年の67%の成長に続いて、前年比38%増加の108億米ドルに達するとの見通しを明らかにした。そのうち、テレビ用バックライト用途が前年比93%増の43億米ドル、モニタ用途、一般照明用途もどちらも前年比57%増となるとしている。また、今年は、LEDバックライトがテレビ用液晶パネル全体の51%を占めると予測している。IMS Researchのシニア副総裁 Ross Young氏は、世界のLEDチップ市場は、昨年下期には全体的に低調であったが、それは主に液晶パネルの在庫が過剰になったこと、及び1枚の液晶パネルに使用されるLEDの数量が減少したため、今年上期は成長が再び加速すると予測。モニタ用及びテレビ用のLED搭載比率の上昇、240Hz 3DやHybridバックライトパネルに使用されるLEDチップの増加、またディスプレイ最大手の三星がLEDの採用を非常に積極的に進めていることなどが、LED市場の再加速を後押しするとしている。

IMS Researchのレポートは、MOCVD設備の出荷量についても改めて予想を示しており、LEDチップ市場の成長が2015年まで続くと予想し、LEDチップメーカーの生産拡張は今後1-2年は続くとしている。GaN MOCVDメーカーであるAixtron、Applied Materials、Jusung、Taiyo Nippon Sanso、Veecoの昨年10-12月の出荷量は合計798台に達し、過去最高を記録。中でも市場をリードしているAixtron、Veecoの市場シェアはそれぞれ53%、44%に達している。ただ、昨年通年で見ると、Veecoの市場シェアは前年の31%から42%に上昇、一方、Aixtronの市場シェアは前年の62%から55%に低下しているという傾向が見られるという。

また、MOCVDの地域別需要については、中国内地の昨年の世界シェアが前年の31%から64%に急上昇、韓国の世界シェアは27%から5%に低下しているという。中国内地のMOCVDの大量導入は今年いっぱい見通しで、中国内地の今年通年のMOCVD導入は1000台を超える見通し。中国内地の世界シェアは、今年は70%を超える見られている。また、照明用LEDチップメーカーが6インチのエピタキシャルシリコンウエハを採用し始めていることから、サファイア基板メーカーにとっては商機拡大の絶好のチャンスとしている。

## 【半導体】海思/展訊、中華圏10大IC設計メーカー4位/8位ランクイン

2011-4-6 中国半導体産業協会

中国内地は、新興市場向けIT機器の一大生産基地であると同時に、巨大な内需を生み出す一大消費市場にもなってきたことから、中国内地のIC設計産業のここ数年の発展は目



覚しいものがある。そして、その生産高は中華圏全体に占める比率は、2006年の20%足らずの状態から、2010年には28.8%に上昇していることが明らかになった。一方、台湾のIC設計産業の同比率は、2006年には80%を超えていたが、2010年には70%近くまで低下した。

ただ、台湾のIC設計産業の2010年の生産高は世界の21%を占め、世界生産シェアは2位、年間売上高が10億米ドルを超えるメーカーも3社存在している。一方、中国内地のIC設計産業の2010年の生産高は世界の8.5%であり、世界生産シェアは3位であるが、年間売上高が10億米ドルを超えるメーカーはまだ1社もない状態。

なお、台湾と中国内地を合計した中華圏全体のIC設計産業の世界生産シェアは、2006年は24.8%だったが、中国内地のIC設計産業の躍進もあって、2010年には29.5%に上昇した。2010年の中華圏のIC設計メーカー売上高上位10社は下表の通りで、中国内地の海思半導体 (Hisilicon)、展訊通信 (Spreadtrum) がそれぞれ4位、8位にランクしている。また、両社の売上高は前年比それぞれ48.4%、225.3%増と急成長が続いており、台湾メーカーを脅かす存在となっている。

単位:10億米ドル

順位	2010	公司	売上高		年成長率
			2010	2009	2010/2009
1		聯發科技 - Taiwan	3.6	3.5	+2.6%
2		聯詠科技 - Taiwan	1.1	0.8	+40.3%
3		晨星半導體 - Taiwan	1.1	0.8	+26.9%
4		海思半導體 - China	0.8	0.6	+48.4%
5		瑞昱半導體 - Taiwan	0.7	0.6	+14.7%
6		奇景光電 - Taiwan	0.6	0.7	-6.9%
7		立錡科技 - Taiwan	0.4	0.2	+51.6%
8		展訊通信 - China	0.3	0.1	+225.3%
9		創意電子 - Taiwan	0.3	0.3	+29.7%
10		瑞鼎科技 - Taiwan	0.3	0.2	+22.7%

## 【半導体】中芯、5年で売上高3倍目指す 台積電、上海に6億米ドル

PCB 情報網 2011-4-6

米国経済の安定に伴って、世界の大手半導体ファウンドリが相次いで生産能力の拡張を再開しており、世界第4位、中国内地最大の半導体ファウンドリである中芯国際 (SMIC) は、今後5年間に生産能力をホップ、ステップ、ジャンプの3段階に分けて拡張、年産能力をウエハ換算200万枚に拡張、年間売上高を2010年の15億米ドルの3倍以上の50億米ドルに拡大する計画を明らかにしている。

中芯国際董事長の江上舟氏は、計画は生産能力を拡張することにとどまらない、今後3年間で製造技術の世界最先端水準まで引き上げる計画を進めることを明らかにしている。中国政府環境省に提出された資料によると、中芯国際の北京での半導体生産ライン第2期計画の総投資額は460.6億元に上り、中芯国際が莫大な資金を投じて生産能力及び製

造技術の引き上げを行なうことが明らかになっている。

中芯国際のほか、台積電（TSMC）は6億米ドルを投じて上海松江工場の8インチ半導体チップ生産ラインの生産能力を、現在の月間3.5万枚から11万枚に拡張、今年下期には稼働させることを明らかにしている。

上海市経済委員会副主任の周敏浩氏は、2010年の上海市の半導体製造業の生産高は460.7億元で前年比61%増となった、上海市は今年から始まる新たな5ヵ年計画で2-3本の12インチ半導体生産ラインの誘致を目指すことを明らかにしている。中国国内の半導体産業の2010年の生産高は、中国半導体産業協会の統計によると、前年比29.5%増の7349.5億元に達している。

こうした外部環境の好転により、中国国内の大手半導体ファウンドリである中芯国際、華潤微電子（China Resources Microelectronics）、先進半導体（ASMC）等が何れも黒字転換を実現しており、中芯国際総裁兼CEOの王寧国氏は、中国政府のユビキタスネットワーク、スマートグリッド建設計画もあることから、中国国内の半導体市場は世界の半導体産業の回復に重要な役割を担っていくとの見方を示している。

中国半導体産業協会は、今後数年間は、パソコン、携帯電話、液晶テレビ等の生産量が大きい電子製品だけでなく、タブレット、医療、セキュリティ等の新型電子製品の生産に大量の半導体が必要となることから、中国の半導体市場が10%前後で安定成長するとの予測を明らかにしている。

710号 4月11日

## 【タッチパネル】宸鴻、100億NTD投じて成都もしくは重慶に新工場建設

2011-04-07 第五頻道

ヒューレットパッカー（HP）、宏碁（ACER）が重慶、デル（DELL）、聯想（LENOVO）が成都に進出することから、ノートパソコンODMの広達（Quanta）、仁宝（Compal）、鴻海（Foxconn）、英業達（Inventec）が重慶、仁宝、緯創（Wistron）が成都に進出することになり、重慶もしくは成都へのノートパソコン部品メーカーの進出が急増しているが、静電容量式タッチパネル大手の宸鴻（TPK）が今般、厦門の生産工場が1-2年後には手狭となる見通しであることから、成都もしくは重慶での工場建設を検討し始めたこと、また立地条件の調査を既に開始したことを明らかにした。

宸鴻は、中国成都もしくは重慶への進出は、最大のユーザーであるアップルからの要請によるもので、アップルから認証を獲得するには一定の時間がかかることから、成都もしくは重慶の工場が稼働するのは来年下期以降になる、投資規模は約100億NTD（約3.45億米ドル）前後になることを明らかにしている。

成都、重慶のどちらに進出するかは、ユーザーである仁宝、緯創、鴻海が成都及び重慶に進出していることから、現地政府の優遇策の内容を比較検討した上で判断することになるとしている。

また、宸鴻は、成都もしくは重慶での新工場が完成すれば、自社生産している前工程のタッチパネル用センサの生産ラインのほか、後工程のモジュール及び保護ガラス（Cover

Lens) の生産ラインも現地に建設することになるとしている。

宸鴻のタッチパネル用素ガラス、保護ガラス調達先である富士光学、深圳の藍思旺 (Lens One) は、宸鴻の内陸進出について、成都・重慶への輸送は可能であるが、クイックレスポンスを考慮すると、現地に工場を建設することも検討することになるとしている。

宸鴻は、タブレット PC 用中型タッチパネルの需要が拡大していることから、4.5 世代タッチセンサ及びモジュール生産ラインの建設を急いでおり、今年設備投資額は7億米ドルに達する見通し。

宸鴻は、3.5 インチのタッチパネル生産能力を昨年末の月間 800 万枚から今年 4-6 月に 1400 万枚に拡張すると同時に、10 インチのタッチパネル生産能力も昨年末の月間 200 万枚から今年 4-6 月には月間 600 万枚まで拡張する計画で、スマートフォンに続いて、タブレット PC 市場でもシェア拡大を狙う。

## 【タッチパネル】アップル、iPad 3 液晶パネルサプライヤ決定 iPad 2 とほぼ同じ

2011-4-7 中国半導体産業協会

アップルのタブレット型パソコン iPad 2 が発売されて間もないものの、第3世代となる iPad 3 の部品獲得競争が既に始まっており、IPS 広視野角技術 TFT-LCD 液晶パネルでは、韓国の LG Display、三星電子、台湾の奇美電子 (CIC) がサプライヤ資格を獲得した模様で、iPad 3 の液晶パネルサプライヤは基本的に iPad 2 液晶パネルサプライヤが横滑りで決まると見られている。

市場では、大型液晶パネル世界第3位の友達光電 (AUO) が、近く IPS 広視角技術液晶パネルの生産を開始することから、iPad のサプライヤ資格を獲得するともいわれているが、IPS 技術の権利金がまだ決まっていないこと、関連生産設備の導入も依然完了していないことから、iPad のサプライヤ資格獲得は不透明との指摘もある。友達光電は、アップル iPod パネルの供給は既に開始していることから、iPad サプライヤ資格獲得の可能性が消えたわけではないとしている。

## 【タッチパネル】勝華、iPad 2 効果、介面はノキア効果で売上過去最高更新

2011-04-07 聯合晩報

アップル iPad 2 発売は関連メーカーの連結売上高を大幅に押し上げており、アップルに静電容量式タッチパネルを供給している勝華 (Wintek) の今年3月の売上高は84億NTDに達し、2月の60億NTDから一気に20億NTD増、前年同月比では159%増となった。1-3月の連結売上高も213億NTD、前年同期比181%増となった。

勝華は今年、中国東莞市の工場に1.2億米ドルを投じて拡張するほか、ベトナム北部にも2.5億NTDを投じて後工程のタッチパネルモジュール工場を建設する計画。

また、抵抗膜式タッチパネルを主力とする介面 (J Touch)、富晶通 (Transtouch) もスマートフォン向け出荷が好調で、特に介面はノキア向けタッチパネルを受注したことから、売上高が急拡大しており、業績低調の抵抗膜式タッチパネル最大手の洋華 (Young Fast) に肩を並べようとしている。

## 【タブレット】RIM PlayBook 発売、アッセンブリの広達、コネクタの正巖に恩恵

DIGITIMES 7-4-2011

カナダのスマートフォン大手の Research In Motion (RIM) が 4 月 19 日からタブレット型パソコン PlayBook を米国及びカナダで 500 米ドルで販売を開始することから、同製品のアッセンブリパートナーである広達 (Quanta)、コネクタを供給している正巖 (Foxlink) が業績を大幅に伸ばす見通しとなっている。

市場関係者は、PlayBook の発売は、ソフトウェアの検査が遅延したこと、及びタッチパネルの供給不足が原因で 1 ヶ月遅れることになったが、タッチパネルの供給不足が主にアップルによるタッチパネル買占めによるものであることが徐々に明らかになってきたという。

## 【携帯電話】比亞迪、ノキア業績回復の恩恵 昨年売上高前年比 5 割増

2011-04-07 PCB 信息网

中国地場最大の携帯電話 OEM アッセンブリメーカーで売上高の 8 割余りがノキア向けである比亞迪電子 (BYD Electronic) は、ノキアの業績回復に伴って、昨年通年の売上高が前年比 48.65% 増の 166.47 億元、純利益は 10.38 億元で前年比 36.76% 増となったことを明らかにした。

ただ、昨年の粗利益率は、売上高全体に占める高収益の携帯電話部品事業の売上高比率が低下したこと、市場の競争激化により価格下落が加速したことなどから、2009 年の 13.95% から 12.43% に低下したことを明らかにした。

また、収益性の低下を克服するため、ビジネスモデルの OEM から ODM へのグレードアップを推進していること、特に 3G 携帯電話の ODM 事業の開拓に力を入れていることを明らかにした。

## 【PCB】華祥電路、江西省九江市の CCL/PCB 生産ラインを来年稼働

2011-4-7 PCB 網城

中国深圳市のプリント配線基板 (PCB) メーカーである華祥電路科技 (Huaxiang Circuit Tech) は、昨年 7-9 月に



1 億元を投じて建設を開始した江西省九江市の華祥工業園の銅箔張り積層板 (CCL) 及び PCB 生産ラインが 2012 年にも稼働する見通しを明らかにした。稼働後の年間生産高は 10 億元に達する見込み。深圳華祥電路: [www.hspcb.com/](http://www.hspcb.com/)

## 【PCB】台耀、3 月売上高が 10 億 NTD 突破 月内値上げはないと

2011-4-7 精実新聞

台湾の大手銅箔張り積層板 (CCL) メーカーである台耀 (TUC) は、今年 3 月の連結売上高



がこれまで最高だった 9.7 億元 NTD を超えて、初めて 10 億元の大台を突破したことを明らかにした。

4 月の見通しについても、受注が 3 月に比べ増えていることから、日本の大震災の影響はあるものの、中国の労働節連休に伴う需要で補完できるとの見通しを示している。

価格動向については、ガラスファイバメーカーが 10% の値上げを計画しているものの、最大手の南亜 (Nan Ya) が現状で据え置く方針であることから、4 月は価格引き上げはないとの見方を示した。

## 【半導体】台積電、世界の半導体市場成長率 7% から 4% に下方修正

2011-4-7 中国半導体産業協会

世界最大の半導体ファウンドリである台積電 (TSMC) 董事長の張忠謀 (Morris Chang) 氏は、日本の大震災に伴う原材料・部品及び製造設備の逼迫、ポルトガルの財政破綻に伴う欧州経済の減速等を考慮して、今年の世界の半導体市場成長率見通しを当初の 7% から 4% に下方修正したことを明らかにした。

その一方、台積電の売上高については、日本の大震災に伴う日系半導体メーカーからの受注増が見込まれること、日本の半導体製造装置メーカーには大震災の影響がそれほど出ていないことなどから、米ドル換算ベースでの前年比 20% 増の目標は変えないことを明らかにした。

## 【コネクタ】中航光電、昨年売上高 15 億元で 26% 増収 光関連は低調

訊石光通迅諮詢網 2011-4-7

中国地場の大手コネクタメーカーである中航光電 (Jonhon Optronic) は、昨年の売上高が 15.21 億元で前年比 26.08% 増、営業利益は 2.07 億元で同 57.54% 増となったことを明らかにした。



売上高を製品ライン別には、コネクタが 11.53 億元で同 32.78% 増、光ファイバ関連部品が 2.13 億元で同 4.61% 減、ケーブルモジュールが 9825 万元で同 37.42% 増となった。

中航光電 : [www.lhgd.com.cn/](http://www.lhgd.com.cn/)

## 【CCL】南亜、アップル向けハロゲンフリー高 TG 銅張り積層板の受注予想

2011-04-07 PCB 信息网

プリント配線基板 (PCB) 用銅箔張り積層板 (CCL) 大手の南亜電子材料 (Nan Ya) は、日本の大震災の影響で三菱ガス化学及び日立化成からの BT 樹脂の調達が困難になっているものの、ハロゲンフリー高 TG 銅箔張り積層板製品の販売が好調で、既に 5-6 社の大手携帯電話メーカーから引合があり、アップルの iPhone、iPad 向けで同製品の供給が実現する可能性があることを明らかにした。

南亜電子材料のエポキシ樹脂年産能力は 2.8 万トン、うち 8 千トンは中国昆山工場で生

産しているが、今月中に昆山の新工場が稼働する予定で、中国昆山工場の年産能力は現在の8千トンから2万トンに拡張されるという。

BT樹脂の調達困難については、三菱ガス化学及び日立化成の世界生産シェアが9割に上ることから、震災の影響をよりダイレクトに受けていることを明らかにしている。

## 【銅箔】金居開発銅箔、今年3月売上高が昨年同月比7.7%減になる

PCB 製造網 2011-4-7

プリント配線基板 (PCB) 用銅箔張り積層板 (CCL) 大手の金居開発銅箔 (Co-Tech) は、日本の大震災で世界の5割以上のBT樹脂を生産する三菱ガス化学の一部工場が操業停止となったことから、今年3月の売上高が5.07億NTDで前月比13%増、前年同月比7.7%減となったことを明らかにした。今年1-3月の累計売上高は14.5億NTDで昨年同期比9.62%増、昨年10-12月比8%増だった。

金居開発銅箔は、三菱ガス化学の工場が操業停止となったことは、主力製品の薄型銅箔張り積層板の生産に大きな影響を及ぼすとしていたが、三菱ガス化学が近く操業を再開することを発表したことから、影響は限定的なものにとどまるとの見方を示している。

## 【ケーブル】東方光源、安徽省に35億元を投じ光ファイバ生産基地を建設

安徽新聞網 2011-4-6

中国地場の東方光源集団は、中国逸通控股と共同で安徽省鳳陽県硅工業園區に35億元を投じて、中国国内有数の光ファイバ光ケーブル生産基地を建設することで、鳳陽県硅工業園管理委員会と正式に契約を調印した。

東方光源集団の光ファイバ光ケーブル生産基地は、5年間の時間をかけて3期に分けて建設する計画で、3期それぞれの投資額は6億元、20億元、9億元としている。石英資源の開発、高純度石英砂の生産、赤外線光ファイバの生産を一貫して行う光ファイバ光ケーブル産業パークになるという。第1期は今年10月着工、2012年12月竣工予定。第3期全てが完成すれば、年産能力は石英鉱石250万トン、高純度石英20万トン、光ファイバ母材200トン、光ファイバ600万コアキロ (売上高15億元) に達する見込み。新規に創出される雇用は5000人に達する。

## 【ケーブル】鑫茂科技、今年年末に光ファイバ年産能力1020万コアキロに

訊石光通訊諮詢網 2011-4-7

中国地場の大手光ファイバメーカーである鑫茂科技 (Xinmao) は6日、年産550万コアキロの第3期の工場建屋の鉄骨工事を完了、生産設備の搬入直前となっていることから、今年年末までに光ファイバ年産能力が1020万コアキロに達する見通しを明らかにした。

711号 4月13日

## 【パソコン】宏碁 CEO、経営方針を出荷量拡大路線から収益重視に修正

DIGITIMES 8-4-2011

宏碁の董事長兼 CEO である王振堂 (JT Wang) 氏は、4月7日にスイスで開催した投資家向け説明会で、市場関係者が関心を示している今後の経営方針について、出荷量のみを追求する経営から、収益を重視した経営に修正すること、その一環として高収益製品の開発を進め、R&D 部門を大幅に増員することを明らかにした。

宏碁が R&D 部門を大幅に増員することについて、市場関係者からの、宏碁の直近の営業利益率は 2%以下に落ち込んでおり、資金繰りが逼迫するのではないかとの指摘に対しては、宏碁の財務担当役員が R&D 部門の増員は売上高の伸び以下に抑制することを明らかにした。

王振堂氏は、IT 産業で大きな革新が進行しており、宏碁の戦略転換はその潮流に対応したものである、大きな革新の動きはスマートフォン、タブレット PC にとどまらず、IT 産業全体に及んでいるとの考えを示した。また、Microsoft が来年投入する Windows 8 が ARM の SoC プラットフォームに対応したものになることから、ノートパソコン及びネットブックの設計を、Windows を高速起動できるインスタントブート (Instant Boot) 機能を搭載したものにすることを明らかにした。

ダブルスクリーン式のタブレット型パソコン Iconia については、王振堂氏は、欧州での売れ行きは好調であるが、一部部品の供給が不足しており、生産が需要に追いつかない状況にある、今後複数のタブレット PC 製品を市場に投入する計画で、ノートパソコン及びネットブック販売不振の影響を最小限に抑えることも明らかにした。同氏は、タブレット PC は、ノートパソコン及びネットブックのどちらも消滅させる存在にはならないだろうが、ノートパソコン及びネットブック市場のこれまでのような 20-30%の成長は期待できない、今後は 1 桁台の成長に移行するだろう、ネットブック市場については年間出荷量 3000 万台前後に縮小するとの見方を示した。

## 【液晶パネル】友達、TV パネル価格の予想を超える下落で 1Q 売上高低調

2011-4-8 中国半導体産業協会

大型液晶パネル世界第 3 位の友達光電 (AUO) は、今年 3 月の連結売上高が 359.47 億 NTD で、前月比 32.7%増、大型パネル出荷量は 1071 万枚、中小型パネル出荷量は約 1677 万枚、どちらも 2 月に比べ 3 割以上の増加となったことを明らかにした。ただ、1-3 月累計売上高は 932.3 億 NTD で、昨年 10-12 月比 9.1%減となり、6 四半期ぶりに 1000 億 NTD を割り込んだ。友達の 3 月の連結売上高も 359.47 億 NTD となったものの、昨年同期に比べると 11.6%減だった。

友達は、液晶テレビ用パネル価格が予想以上に下落したことが、1-3 月の連結売上高が 1000 億 NTD を下回り、昨年 10-12 月比 9%減、昨年同期比 16%減となった最大の要因であるとしている。友達は、2009 年 7-9 月に初めて四半期売上高が 1000 億 NTD の大台を

突破し、その後、四半期売上高は1000億NTD以上の水準を維持していたが、6四半期ぶりに1000億NTDを割り込んだ。

今年1-3月の各種パネルの出荷量は、大型パネル出荷量は2840万枚で昨年10-12月に比べ1.3%増、昨年同期比4.3%増だったが、中小型パネル出荷量は4349万枚で、昨年10-12月比17.8%減、昨年同期比では23.7%減となった。

友達は、昨年10-12月に113億NTDの赤字を計上したが、通年では74.08億NTDの黒字を達成、今後も高付加価値製品の開発に注力することで収益を確保していくことを明らかにしている。

中国国家知的財産権局が正式に発表した中国内地発明特許獲得数状況によると、友達光電は第4位にランクされており、2010年末時点で友達が世界全体で獲得している特許は7500件であるが、そのうち2700件が中国内地で獲得した発明特許だという。

## 【液晶TV】中国政府、薄型TVエコ補助金制度の年内実施は困難な情勢

2011-04-08 網易科技

中国政府は、年内に実施を予定していた薄型テレビ購入に対するエコ補助金制度の実施を延期する見通しであることが明らかになった。中国内地の液晶テレビ用パネルを大量に供給している友達光電(AUO)、奇美電子(CIC)にとっては、同制度の早期実施を期待していただけに、実施の延期は両社の業績にマイナスとなることが懸念されている。

中国政府の政策立案を担当している国家発展改革委員会は、今年初めに20億円の予算を投じて薄型テレビ購入に対するエコ補助金を年内に実施することを計画していたが、各省庁が持ち帰って検討した結果、どの種類の薄型テレビにどの程度の補助金を支給するかについて納得がいく合理的な基準がまとまらなかったこと、また既に実施しているエアコン購入に対するエコ補助金で管理上の問題が解決されていないことなどから、具体的制度設計には至らなかったという。

中国国家発改委副主任の解振華氏は先日、エネルギー消費効率1級もしくは2級の薄型テレビに補助金を支給する制度を3年間実施する方針を明らかにしていた。

## 【EMS】富士康、今月中に南寧市の生産基地稼働 4万人の雇用創出

2011-4-8 南寧日報

EMS最大手の鴻海集団(Foxconn Group)傘下の富士康集団は、中国広西チワン族自治区の省都・南寧市のハイテク区に建設していた生産基地第1期を今月正式に稼働させることを明らかにした。年間生産高は100億元以上に達する見込み。富士康南寧生産基地は全ての事業が稼働すれば、4万人の雇用を生み出し、年間生産高は300億元に達すると見られている。

富士康集団は昨年12月23日、南寧市政府と戦略的パートナーシップ契約を締結、南寧市ハイテク区に電子書籍リーダー、スマートフォン、GPS機器、高品位ルーター、ICカード等製品の生産基地を建設する計画を進めている。



## 【携帯電話】クアルコム、TDチップ ODM 生産するも劣勢挽回は難しい情勢

2011-4-7 中国半導体産業協会

世界の3Gスマートフォンの急成長の立役者で、WCDMA及びCDMA2000用3Gチップ市場をほぼ独占している米国クアルコムは、特許料だけで3Gスマートフォン1台当たり1米ドルの収入があるといわれている。

その一方で、クアルコムは、中国が独自に開発したTD-SCDMAについては、市場性が乏しいとして、これまでTDチップの開発を行なわない方針を貫いてきた。

しかし、TD市場が、クアルコムの予想に反して急成長しており、今年2月末時点の中国国内のTDユーザー数は2454.7万に達しているのに対し、CDMA2000、WCDMAの中国国内ユーザー数はそれぞれ1476万、1668万にとどまっている状況にある。中国国内最大の移動通信キャリアである中国移动（China Mobile）がTDネットワークの発展を後押ししていることが、TDユーザーの拡大がCDMA2000、WCDMAに比べ速い背景にはあるものの、TD産業聯盟事務局長の楊驊氏は、2011年年末までにTDユーザー数は5000万を突破するとの予測を明らかにしている。

TDユーザーの急増、TD産業の発展は、クアルコムにとっては、当初の判断が間違っていたこと、当初の間違った判断を早期に修正しなかったことも大きな損失となっており、クアルコムはODMを通じてTDチップの生産を始めたものの、中国国内で急拡大するTD市場での劣勢を挽回することには至っていない。

さらに、クアルコムは当初、TD-LTEが第4世代移動通信技術の国際標準となることは難しいと予測していたが、その予測も外れる公算が高まっている。中国国内のTDチップメーカーは早くからTD-LTEにベースにした4Gチップの開発に着手し、今年年末にはTD-LTEチップを市場に投入することが実現する見通しとなっており、クアルコムはTD-LTEチップ開発においても、中国国内メーカーに大きく遅れを取ることが確実な情勢となっている。クアルコムは、米国市場でもCDMA2000方式を4G標準とすることに失敗しており、クアルコムは4Gチップ市場では3Gチップ市場で謳歌したような独占的な地位を再演することはできないだろうとの見方が強まっている。

## 【LED】上海亜明、LED照明で米Creeと戦略的パートナーシップを締結

2011-04-08 21ic

中国上海市の大手照明メーカー、上海亜明灯泡廠は、LED照明事業のパートナーとして、大手LEDチップメーカーである米国Cree社と戦略的パートナーシップを締結したことを明らかにした。



上海亜明は、1923年設立の電球メーカー老舗であり、現在は上海飛樂音響股份有限公司の100%子会社となっている。上海亜明董事長の劉経偉氏は、上海亜明とCreeの提携は、中国のLED照明技術の発展に重要な一歩となるとしており、一方、Cree中国市場総経理の唐国慶氏は、歴史ある上海亜明と提携することで、Creeの技術を効率的に中国国内に広めることが可能との考えを明らかにしている。上海亜明：[www.yaming-lighting.com/](http://www.yaming-lighting.com/)

## 【太陽電池】浙江申能、3億元投じ平湖市に太陽電池生産基地を建設

電源在線網 2011-4-8

中国浙江省の太陽電池メーカー、申能光伏科技股份有限公司は、浙江省平湖市で年産50メガワットの太陽電池セル及びモジュール生産事業第1期の建設を正式に開始した。総投資額は3億元。完成すれば、年間生産高は6億元に達する見込み。

また、将来的には8本の太陽電池セル及びモジュール生産ラインを建設する計画で、全てが完成すれば、年産能力は200メガワット、年間生産高10億元に達する見通し。

## 【太陽電池】中美晶、サファイア基板好調で3月売上高が過去最高水準

2011-4-8 中国半導体産業協会

台湾の大手太陽電池用シリコンウエハメーカー、中美晶(SAS)は、今年3月の連結売上高が前年同月比40.59%増の22.6億NTDに達し、過去2番目に高い水準に達したことを明らかにした。1-3月の累計連結売上高も64.8億NTDで前年同期比49.34%増となった。好業績の要因として、シリコンウエハ、半導体、サファイア基板全ての主力製品の売上高が好調だったとしているが、中でもサファイア基板の売上高が大幅に増加したことが大きいとしている。同社の3月のサファイア基板の売上高は初めて1億NTDを突破、1-3月のサファイア基板の売上高は昨年10-12月比8割以上の増加、昨年1-3月に比べ4倍以上に増加したことを明らかにした。

太陽電池用シリコンウエハ事業については、イタリア等の主要太陽電池需要国の補助金政策が不透明であることから、今後数ヶ月は弱含みの展開が続くとしている。

## 【PCB】路通印刷電路、家電用リモコン大手の中山友進電子と提携

臨安新聞網 2011-4-8

ソニー、パナソニック、三星、LG、モトローラ、フィリップス等に製品を供給している中国杭州市のプリント配線基板(PCB)



メーカー、路通印刷電路科技有限公司は、家電用リモコン大手

の韓国資本の中山友進電子有限公司と提携することで正式に契約を締結したことを明らかにした。リモコン用PCBの開発、製造を共同で行う。

## 【PCB】天津普林、52%増収にも関わらず赤字転落 売上高水増しか

2011-4-8 上海証券報

中国地場の大手プリント配線基板メーカーである天津普林は、売上高が5.6億元で前年比52.47%となったにも関わらず、最終損益が1931.52万元の赤字となったことを明らかにした。

同社董事会は、大幅増収の中で赤字に転落したことについて、人民元高に伴う為替差損、原材料コストの上昇によるものと説明しているが、市場関係者は、天津普林の今年の売

上高が前年比 1.93 億元の増加とされているが、そのうち 1.8 億元が売掛金であることから、売上高が大幅に水増しされている可能性を指摘している。

## 【PCB】瀚宇博徳、宏碁の影響は軽微 3月売上高が前月比5割増

2011-4-8 中国 PCB 産業協会

世界最大のノートパソコン用プリント基板メーカーである瀚宇博徳 (Hannstar) は、ノートパソコンブランド世界第2位の宏碁 (Acer) が今年の売上高見通しを大幅に下方修正し CEO が辞任する事態に陥ったことがノートパソコン産業に大きな波紋を広げる中、ノートパソコン全体の市況は好転しており、今年3月の連結売上高が 19.94 億 NTD で、前月比 55.36% 増、前年同月比でも 0.63% 増となったことを明らかにした。

## 【電池】天齊鋰業、航天電源に資本参加 動力用リチウム電池事業参入

和讯网 2011-4-8

中国の大手リチウム資源開発企業である天齊鋰業 (Tianqi Lithium) は、中国航天



四川天齊鋰業股份有限公司  
Sichuan Tianqi Lithium Industries, Inc.

科技集団上海航天局傘下の大手蓄電池メーカーである上海航天電源に資本参加し、上海航天電源が進めている年産 5000 万アンペアアワーの動力用リチウムイオン電池芯及びバッテリー集積システム生産事業に参画することを明らかにした。資本参加により、天齊鋰業は上海航天電源の 20% の株式を取得、上海航天電源の次席株主することになる。

上海航天電源は、上海空間電源研究所、上海航天工業総公司、杉杉股份、深圳市大族創業投資が 2009 年 2 月に 9000 万元を共同出資し設立した企業。出資比率は、上海空間電源研究所：34%、上海航天工業総公司：30%、杉杉股份：18%、大族創業投資 18% とされている。上海航天電源は、各種高性能のリン酸鉄リチウムイオン電池を生産しており、技術水準は中国国内有数といわれている。上海航天電源の今年の売上高は 1246.68 万元、純利益は 135.4 万元だった。四川天齊：[www.likunda-china.com/](http://www.likunda-china.com/)

712号 4月15日

## 【液晶パネル】奇美、シャープから大量 ODM 獲得で 2Q は大幅増収予想

2011-04-12 投影時代

世界第4位の大型液晶パネルメーカーである奇美電子 (CIC) は、昨年7月に日立ディスプレイズから IPS 広視野角技術授権及び ODM 生産を獲得し、既に第5世代液晶パネル生産ラインで IPS パネルの製造を開始、月間の中型 IPS パネル生産量は 140 万枚に達しており、生産規模は韓国 LGD に次ぐものになっている。奇美電子は、IPS パネルの生産能力を持つことを通じて、既にアップルの主力サプライヤの資格を獲得することに成功しているが、震災の影響で液晶パネルの生産を一時停止している日本のシャープからも大量の ODM を獲得したことから、4-6 月は大幅な増収になる見通しであるが明らかになっ

た。

奇美電子は、先の投資家向け説明会で、今年上期は需要閑散期の影響を考慮して慎重な見通しを示しており、収益を確保するため、低収益の小型液晶パネルの出荷は抑える一方、高収益の中小型タッチパネル及び価格が安定推移している大型液晶パネルの生産に集中している。

一時低下した稼働率については、既に80%以上の水準を回復しており、液晶パネル事業の粗利率は2-3%まで回復していることを明らかにしている。また、関連部品の調達コストが3-5%下がったことから、今年1-3月の粗利が赤字から黒字に転換したことも明らかにした。

## 【ノートPC】仁宝、宏碁の業績悪化の影響で1Q売上高が前年比26%減

台湾経済日報 2011.04.12

ノートパソコン ODM 世界第2位の仁宝(Compal)は11日、主力ユーザーである宏碁(Acer)が業績予想を大幅に下方修正するとともに、数量重視の経営を収益重視に大きく転換することを決めたことの影響で、今年3月の連結売上高が668.5億NTDで前月比53%減、前年同月比14%減、出荷量は430万台だったことを明らかにした。また、宏碁の経営方針の大幅な転換は経営トップの交代に波及していることから、影響は長期化するとしており、その影響を最小限に抑えるため、液晶テレビのODM事業に注力するとともに、新たなユーザーの獲得にも力を入れることを明らかにした。

4-6月の見通しについても、宏碁(Acer)、联想(Lenovo)がタブレット型パソコンを出荷し始めることから売上高の押し上げ効果は期待できるものの、その効果が宏碁のネットブック出荷不振により相殺される見通しで、売上高は1-3月と同水準になる可能性が高いとしている。

強気の発言で有名な仁宝総経理の陳瑞聡氏が今月14日に開催される従業員との植樹祭で、タブレット型パソコンの普及に伴うノートパソコン及びネットブック市場の成長鈍化についてどのような発言をするか、ノートパソコン各社の3月の売上高が上昇する中、仁宝の3月の連結売上高が668.5億NTDで前年同月比14%減、1-3月の連結売上高が1638.7億NTDで前年同期比25.5%減となっていることについて、同氏がどのような説明をするのかにも注目が集まっている。

仁宝の主力ユーザーである宏碁の業績悪化の影響は、仁宝の株価にも大きな影響を与えており、仁宝は株価の下落を食い止めるため、10万株の自社株買いを実施している。

アップルを除くノートパソコンブランドメーカーは、自社ブランドのタブレット型パソコンを投入しても、日本の震災に伴う部材の調達困難、ノートパソコン及びネットブックの販売不振を相殺するのは難しいとしており、今後数ヶ月の業績について悲観的な見方を示している。

## 【LED】台湾の大手LEDメーカー、需要期到来で3月売上高が大幅増

2011-04-12 ledinside



台湾の大手LEDメーカーの3月の売上高は何れも前月を大幅に上回る水準に達しており、LEDチップの泰谷（Tekcore）の3月の売上高が過去最高を記録したほか、LEDバックライトの中強（Coretronic）、LEDチップの晶元（Epistar）、鼎元（Tyntek）の3月の売上高も何れも2010年のピーク期の水準に達した。また、どのメーカーも、今年4-6月について、1-3月比3割増を見込んでいることが明らかになった。

泰谷の3月の売上高は3.09億NTDで、2月に比べ34%増。韓国ユーザーからの受注が旺盛で、3月は稼働率が1ヶ月を通して100%で推移したという。4月の受注も堅調で、売上高は少なくとも3億NTDに達するとしている。

中強の3月の連結売上高も87.85億NTDで、2月比42%増、昨年同期比19%増、1-3月の連結売上高も206.7億NTDで、昨年10-12月比6%増となったが、昨年同期比では3%減だった。4月については、液晶テレビ用LEDバックライトモジュール需要は減速しているが、タブレット型パソコン用LEDバックライトモジュール需要は加速していることから、3月と同水準になるとの見方をしている。

晶元の3月の売上高は16.98億NTDで、2月比23%増、昨年同期比でも市場予想通りの16%増となった。ただ、晶元の1-3月の売上高は44.47億NTDで、昨年10-12月に比べ7%減となった。4月の売上高については、需要期に入るため、昨年並みに回復する見通しで、これまでの月間売上高過去最高である19.38億NTDを突破する可能性もあるとしている。

鼎元の3月の売上高は3億NTDを突破して3.2億NTDに達し、2月に比べ4割増となった。1-3月の売上高も8.09億NTDで、昨年10-12月比7%増だった。4月の受注量が3月の売上高に比べ1割増となっていること、4月に新たに青色LED製品の出荷を開始することから、5月の売上高は過去最高を記録する見通しであることも明らかにしている。また、シリコンウエハの自社生産を開始し、4-6月には自社生産したシリコンウエハから生産するLEDチップの売上高が1.8億NTDに達し、4-6月の粗利率が20%以上を回復することも明らかにした。

## 【太陽電池】晶澳、合肥での年産3GWの生産基地建設を正式に着工

2011-4-12 中国半導体産業協会

昨年世界最大の太陽電池メーカーとなった晶澳太陽能は11日、今年2月26日に契約調印した中国安徽省合肥市での年産能力3ギガワットに達する太陽電池生産基地の建設を正式に開始したことを明らかにした。総投資額は135億元に達し、太陽電池生産基地としては世界最大のプロジェクトとなる。

合肥市は、晶澳の太陽電池生産基地のほか、京東方の総投資額285億元の8.5世代液晶パネル生産ラインの誘致も決めており、相次ぐ大型電子プロジェクトの誘致で家電の町から電子の町に生まれ変わろうとしている。

晶澳太陽能の第1期は今年9月には工場建屋が完成し、生産設備の搬入据付、試運転を行い、今年12月には正式に稼働する予定。

晶澳太陽能の親会社である晶龍集团董事长、晶澳集团执行董事长である靳保芳氏は、グループの董事会を合肥市で開催し、合肥の太陽電池生産基地の建設が予定よりも早く完

成することから、揚州等の生産基地で行う予定だった一部生産を合肥生産基地に移転することを決めたことを明らかにした。

晶澳の合肥生産基地は全ての事業が完成すれば、年間生産高は300億元、新たに創出する雇用は1.5万人に上る見込み。合肥市政府の期待が大きい肝いりの事業となっている。

## 【太陽電池】台湾、中国の規制受けて域内での多結晶シリコン生産拡張

老杳吧 2011-4-12

太陽電池用多結晶シリコンの需給が逼迫している中、中国内地政府が多結晶シリコン生産事業に対する規模規制を開始したことから、台湾メーカーが台湾域内での多結晶シリコン生産工場を加速しており、台湾は1平方キロメートル面積当たりの多結晶シリコン工場密度が世界で最も高い地域になろうとしている。

台湾の太陽電池産業は、多結晶シリコンの自給自足の早期実現を急務としており、福聚太陽能、科冠能源、宝徳能源、台玻、実聯能源のほか、液晶パネル大手の友達(AUO)、化学品大手の台塑(台プラ)も多結晶シリコン生産事業に参入しており、1万平方キロメートル当たりの多結晶シリコン工場数が1.43軒に達している。

中国内地で既に稼働もしくは近く稼働する多結晶シリコン工場は合わせて41軒に上るが、中国内地の面積が960万平方キロメートルであることから、工場密度は1万平方キロメートル当たり0.04軒と小さい。さらに、中国内地では、多結晶シリコン工場の汚水処理に対する認識が甘く、2008年には洛陽中硅、寧夏石嘴山、英利集団傘下の六九硅業の多結晶シリコン工場の周辺農地から高い濃度の四塩化シリコンが検出され、農作物が生産できない状況になったことから、生産規模制限だけでなく、汚水処理についても厳しい規制を実施していることから、新規参入が一層難しくなっているという。

韓国では、Hankook、OCI、LG化学、Woongjin、三星電子、米国のMEMCが多結晶シリコン工場を建設しているが、9.8万平方キロメートルに6軒しかなく、1万平方キロメートル当たりでは0.61軒、日本もトクヤマ、大阪チタニウム、三菱、友達(AUO)傘下のM. Setekが4軒の多結晶シリコン工場を建設しているが、1万平方キロメートル当たり0.11軒に過ぎない。

## 【PCB】超華、レアース事業参入を否定 三祥電路の買収交渉中と

PCB 信息网 2011-4-12

中国広東省梅州市の大手プリント配線基板(PCB)メーカー、超華科技(Chaohua)は6日、江西省贛州市で3つのレアアース



生産ライセンスを取得しレアアース事業に参入するとの憶測について、そのような事実がないこと、資本参加の対象は同業の広州三祥多層電路有限公司であり、広州三祥の50%を超える株式を取得する方向で現在交渉していることを明らかにした。

広州三祥多層電路は、主に多層プリント配線基板、アルミ基板プリント配線基板を生産する企業で、登録資本は2000万香港ドル、2010年度の売上高は1.1億元とされており、買収資金は6000万元を超えない見通し。超華科技：[www.chaohuatech.com/](http://www.chaohuatech.com/)

## 【PCB】台湾フレキ基板メーカー、震災後に日系からの緊急オーダーが増加

2011-4-12 funddj

台湾の大手フレキ基板メーカーである嘉聯益 (Career)、台郡 (Flexium)、台虹 (Taiflex) 等が相次いで今年3月の連結売上高を発表、そのうち台郡の3月の連結売上高は5.39億NTDで過去最高を記録、嘉聯益も2月比4割増となったことを明らかにした。4-6月の見通しについても、両社ともアップル、宏達 (HTC) からの受注が堅調であることから、増収が期待できるとしている。

3月の売上高が2月比4割増となった嘉聯益は、日本の大震災の影響で、日系メーカーからの緊急オーダーが増加しており、今月からその売上が業績に反映されてくることを明らかにしている。台郡も震災以降、緊急オーダーが増えていることを明らかにしている。

また、台虹は、フレキ基板のほか、太陽電池用基板の出荷が好調で、1-3月の連結売上高が17.86億NTDで、昨年10-12月並み、前年同期比36.55%増となったことを明らかにした。

## 【受動部品】順絡/風華、震災以降に欧米系メーカーから緊急発注急増

電子元件技術網 2011-4-11

中国地場最大のチップインダクタメーカーである順絡電子 (Sunlord) は、日本の震災の影響で TDK、村田、太陽誘電等の大手メーカーの生産が制限されていることから、欧米系メーカーからの緊急発注が増えていることを明らかにした。

順絡電子営業担当者は、これまで当社の主要ユーザーは中興 (ZTE)、華為 (Huawei)、三星電子等で、欧米メーカーのサプライチェーンへの参入は実現していなかった、それが、日本の大地震発生以降に、相当数の欧米メーカーから相次いで緊急オーダーを受注していることを明らかにした。また、今回の日本の震災の影響が長期化する見通しであることから、欧米メーカーからの受注が一定期間は維持できるとの見通しを示している。特に関東地方に多数の工場を有する TDK、太陽誘電は、計画停電の影響によりフル稼働ができない状況が当分続く見通しを明らかにしているため、順絡電子への転注が当分は続く見通しとなっている。昨年の順絡電子のチップ受動部品の売上高は4億4798万元で前年比37%増、粗利率は昨年末に45.5%に達しているが、今年は昨年を上回る業績が予想されている。順絡電子は今年、チップインダクタの生産能力を新たに67億個分拡張する計画を進めており、震災に伴う緊急オーダーにも十分対応できるとしている。

また、同業大手の風華高科技も、日本の震災に伴う転注の恩恵を受けていることを明らかにしている。風華高科技の昨年のチップインダクタの売上高は1億1934万元。

## 【電池】仏山照明、合肥国軒と合併で動力用リチウム電池生産企業設立

証券時報網 2011-4-12

電動スクーター大手の台湾の必翔実業 (Pihsiang) との電気自動車用リチウム電池事業提携を撤回した中国広東省の大手照明メーカー、仏山照明は 11 日、中国安徽省合肥市のリン酸鉄リチウム電池メーカーである合肥国軒高科動力能源 (Guoxuan Hight-Tech Power Energy) との動力用リチウム電池事業について、登録資本 5 千萬元、50% : 50% の出資比率で、合弁企業、合肥国軒高科動力能源限公司を設立したことを明らかにした。総投資額は 2.61 億元。

713号 4月18日

## 【ノートPC】重慶、年産 1.2 億台のノートPC 生産基地のメーカー誘致を達成

2011-4-14 第一財經日報

重慶市市長の黄奇帆氏は 12 日、ノート PC ブランド世界第 5 位の華碩 (Asus) が 1.5 億米ドルを投じて 2015 年までに重慶市に年産 3000 万台のノートパソコン生産基地を建設することが正式に決定したこと、既に決定しているノート PC ブランド世界最大手の米国 HP、同第 2 位の台湾宏碁 (Acer) のそれぞれ年産 4000 万台以上のノート PC 生産基地と合わせて、重慶市に年産台数 1.2 億台のノート PC 生産基地を建設するという一大計画が現実になったこと、今後は生産基地の具体的建設段階に入ることを明らかにした。また、華碩董事長の施崇棠氏は、重慶市に中国で 2 つ目のオペレーション本部ビル及びその他の関連施設も建設することを明らかにした。

重慶市経済委員会主任の沐華平氏は、重慶に進出が決まっている HP、宏碁、華碩、方正 (Founder) 等のパソコンブランドメーカーの世界生産シェアは 46% に達する、また既に重慶に進出することが決定している世界の 6 大ノートパソコン ODM メーカーである台湾の広達 (Quanta)、仁宝 (Compal)、緯創 (Wistron)、英業達 (Inventec)、和碩 (Pegatron)、富士康 (Foxconn) のノート PC 世界生産シェアは 80% を超える、さらに既に 200 社以上の部品・原材料メーカーが重慶市に進出することが決まっており、重慶市は今やノートパソコン産業の世界的集積地になろうとしていることを強調した。

世界のノートパソコン出荷量は今年初めて 2 億台を突破する見通しで、3-4 年後には 3 億台を突破すると見られているが、重慶市は世界で販売されるノートパソコンの 3 分の 1 を生産する上海周辺に次ぐ一大生産基地に躍進することになる。

黄奇帆氏によると、今年の重慶市のノートパソコン生産台数は 3000 万台に達する見通しで、前年比 22 倍になるという。また、2012 年の重慶市のノートパソコン生産量は 1 億台を突破、部品・原材料も含めた重慶市のノートパソコン産業の年間生産高は 7000 億元を超える見通しで、2009 年の重慶市の工業生産高がほぼ 8000 億元であるので、ノートパソコン産業によって、重慶市の工業生産高が 3 年で 2 倍に拡大することになる。

重慶市経済委員会は、2010 年の重慶市の情報産業生産高は 1359 億元だが、今年は 3000 億元に達し、2015 年には 1 兆億元を突破するとの見通しを示している。

## 【ノートPC】インテル、宏碁等と共同で価格 200 米ドルのネットブックを販売



DIGITIMES 14-4-2011

マイクロプロセッサ最大手のインテルは、タブレット型パソコン市場によりネットブック市場が侵食される中、ネットブックに対する価格戦略を再構築し、宏碁 (Acer)、華碩 (Asus) を含むネットブックのパートナーと共同で中東、南米、東欧市場をターゲットとした価格 200 米ドルのネットブックを市場に投入することを明らかにした。

一方、欧州、米国、中国などの地域に対しては、引き続き Cedar Trail-M プラットフォームを使った価格帯 300-600 米ドルのネットブックを投入していくこと、新たなテクノロジーとして Wireless Display (WiDi)、Wireless Audio を搭載することを明らかにした。新興国市場向け価格 200 米ドルのネットブックについては、インテルが独自開発した MeeGo オペレーションシステムを採用することも決めている。

華碩、宏碁のほか、複数の中国地場系の中堅の White-box ネットブックメーカーが、今年後半にはインテルの 200 米ドルネットブックの出荷を開始する計画だという。

## 【携帯電話】聯発、3月売上高 2.7 億米ドル前月比 12%減 値下げ響く

2011-04-13 搜狐

携帯電話チップ大手の聯発科技 (Mediatek) は、今年 3 月の売上高が 78.1 億 NTD (約 2.7 億米ドル) で、市場予想の 80 億 NTD を下回ったことを明らかにした。一方、聯発の 1-3 月の累計売上高は 198.6 億 NTD で昨年 10-12 月比 12.4%減となったものの、同社が目標としていた 195-210 億 NTD の最低ラインは達成した。

3 月の出荷量は、昨年上期に達成した過去最高水準の 90%水準まで回復したが、昨年後半からの 2 度にわたる値下げが響いて、売上高ベースでは過去最高水準の 60%にとどまった。

市場関係者は、聯発科技のスマートフォン用チップが売上高に貢献してくるには未だ時間がかかること、また聯発科技が中国内地の White-box 携帯電話メーカー依存から依然脱却できていないことから、聯発科技の業績不振は予想以上に長期化する可能性があるとして指摘している。

聯発科技の昨年 10-12 月の売上高は昨年 7-9 月比 19.5%減の 226.8 億 NTD、粗利率も昨年 7-9 月の 52.2%から 49.2%に低下している。

## 【液晶 TV】TCL、3月の携帯電話、液晶 TV 販売量が前年比大幅増

2011-04-14 上海証券報

中国地場の大手テレビメーカーである TCL 集団は 14 日、今年 3 月の主要製品の販売台数を発表し、カラーテレビ、携帯電話を含む全ての製品ラインで販売量が大幅な増加となったことを明らかにした。

そのうち、携帯電話の出荷量は 321.20 万台で前年同月比 41.70%増、液晶テレビの出荷量は 50.17 万台で同 25.01%増だった。また、1-3 月の純利益は 2.1-2.3 億元で同 225-255%増となる見通しを明らかにしている。

## 【電子紙】元太、アップルのサプライヤ資格獲得にはE-Ink技術の改善必要

2011-04-14 中国触摸屏網

アップルが米国特許商標局に申請した特許内容に今後投入する iPad にカラー液晶パネル及びモノクロ電子ペーパー技術(Hybrid E-ink-LCD)を採用した技術が含まれていることから、電子書籍リーダー用電子ペーパー最大手の元太科技 (Prime View) 傘下の E Ink、友達光電傘下の SiPix がアップルのサプライヤとなる可能性が出ている。

アップルの申請書類によると、ユーザーはフルカラー液晶パネルの一部もしくは全面をモノクロ電子ペーパー表示に切り換えることができると記載されているという。電子ペーパーの、直射日光下でも画像が影響を受けないというメリットを生かすことが狙いだという。申請書類で言及している反射型ディスプレイ技術の Particle は、電子ペーパー技術の Power を意味しているもので、アップルはその Particle を左右に移動する技術を採用している。ただ、Particle を左右に移動する技術を持っている電子ペーパーメーカーは、友達光電 (AUO) 傘下の SiPix だけで、E Ink、日本のブリジストンの QR-LPD にはその技術がないことから、アップルが採用する電子ペーパーメーカーが SiPix となる可能性が高いとも見られている。

さらに、反射型電子ペーパーをどのように液晶パネルに貼り合わせるかも高いハードルとなっている。ディスプレイ原理から、反射型ディスプレイは必ず液晶パネルの上に張り合わせる必要があるが、そうすると画質及び輝度が大幅に低下することになるという欠点が生じる。アップルの iOS 端末装置に使用されている IPS パネルのスペックは輝度 400 nits 以上であるため、消費電力を増やさずに画質・輝度を如何に引き上げるかが今後解決すべき難しい課題となる。

市場関係者は、電子ペーパー最大手の元太がアップルのサプライチェーンに参画できるかは、元太の将来の業績を大きく左右すると指摘しつつも、元太の今年 1-3 月の連結売上高が昨年 10-12 月比 4%増、前年同期比 101%増の 100.86 億 NTD に達していることから、アップルのサプライヤとなるかは短期的には元太にとっては決定的な要因にはならないとも見ている。

## 【タッチパネル】宸鴻、中国内陸進出を加速 成都の新工場を 7 月に稼働

2011-04-14 台湾経済日報

タッチパネルの需給逼迫が続く中、アップルの 2 大タッチパネルサプライヤである宸鴻 (TPK) 及び勝華 (Wintek) は、台湾域内、中国内地双方で生産能力の拡張を急いでおり、勝華が今年 6 月に台中工業区に新工場を稼働させる一方、宸鴻は中国内地の成都の新工場を今年 7 月に稼働させることを明らかにした。

中でも、宸鴻は今年 2 月末に今年設備投資額を昨年 2 倍に相当する 203 億 NTD に拡大することを発表、スマートフォン及びタブレット型パソコン向けタッチパネルの需要拡大に対応するためであると同時に、タッチパネル事業を急拡大させている鴻海 (Foxconn) 傘下の奇美 (CIC)、友達 (AUO) とのシェア争いに備えるためであることを明らかにしている。

宸鴻は、成都の新工場が今年7月に稼働すれば、タッチパネル後工程のモジュール生産能力は現在の約2倍になるとしており、現在のタッチパネルモジュールの月産能力が3.5インチが800-900万枚、10インチが200万枚であるので、7-9月にはそれぞれ1400万枚、600万枚に拡張されることになる。また、3.5インチのプラスチック基層薄膜の月産能力も150万枚から300万枚に拡張されるという。

宸鴻の技術的優位性はタッチパネルの貼り合わせ技術にあるため、タッチパネルモジュールに液晶パネルを貼り合わせる構造を採用するタッチパネル製品が増えていることを背景に、後工程のモジュール生産工程の売上高全体に占める比率は4割まで上昇しているという。

宸鴻総経理の孫大明氏は、今年はタッチセンサ及び保護ガラスの生産能力を大幅に拡張すると同時に、川上及び川下産業の統合も加速することを明らかにしている。

## 【タッチパネル】奇美、320億NTD資金調達でタッチパネル事業を大幅拡張

2011-04-14 台湾経済日報

EMS 世界最大手の鴻海集団 (Foxconn Group) 傘下の液晶パネル世界第4位の奇美電子 (CIC) 董事会は13日、静電容量式タッチパネル最大手の宸鴻 (TPK) の一人勝ち局面を打破するため、約320億NTDの資金調達を行い、タッチパネル生産能力を大幅に拡張することを決定した。奇美電子の今年の設備投資額は1000億NTDに達する見通しで、その大部分をタッチパネル及び大型液晶パネルの生産拡張に当てる計画。

奇美電子は鴻海集団傘下に入ることで、アップルからのタブレットパソコン iPad のタッチパネルの受注を実現、第5世代及び第6世代液晶パネル生産ラインをタッチパネル生産に転用することで、タブレット型パソコン用タッチパネルの大量生産を軌道に乗せている。また、奇美電子は台湾域内だけでなく、中国深圳でのタッチパネル生産工場建設も同時平行で進めている。

## 【タッチパネル】迎輝、2本目のタッチパネル用ITO導電フィルム生産ライン稼働

2011-4-14 中国半導体産業協会

液晶パネル用集光シート/拡散フィルム大手の迎輝科技 (Efun) は、タッチパネル用ITO導電



フィルムの2本目の生産ラインを稼働させたことから、今年4-6月の同製品の生産量は従来比2倍に達する見通しを明らかにした。

1本目のタッチパネル用ITO導電フィルム生産ラインの今年3月の売上高は1700万NTD、2本目の同生産ラインの3月の売上高は700万元で、合計2500万元の売上高を達成したという。なお、タッチパネル用ITO導電フィルムを除く集光シート/拡散フィルム等の売上高は1.95億NTDで、依然として売上の太宗を占めている。

日本の震災の影響については、原材料を調達しているメーカーの工場が幸い震災地にならないことから生産停止の状況には至っていないが、計画停電の影響については今後の推移を見守る必要があるとしている。迎輝科技：www.efun.com.tw/

## 【PCB】2010年世界のリジットプリント配線基板メーカー売上高ランキング

2011-04-14 水清木華

中国地場の市場調査機関、水清木華研究センターは、世界のプリント配線基板メーカーは、2008年、2009年と2年連続で縮小することになったものの、2010年はスマートフォン及びタブレット型パソコンの普及により、前年比10.5%の成長を回復、2011年は5.1%の成長が予想されることを明らかにした。また、2010年の世界のリジットプリント配線基板メーカー売上高上位20社ランキング（右下表）を発表、上位2社は従来型基板及びビルドアップ基板双方で売上高を伸ばした健鼎（Tripod）、欣興（Unimicron）が占めた。

従来型携帯電話には通常、2枚の従来型基板を2枚のビルドアップ基板ではさむ簡易設計になっているのに対し、ミドルクラス及びハイクラスのスマートフォンでは、それぞれ2枚の従来型基板を4枚のビルドアップ基板ではさむ設計、2枚の従来型基板を6枚のビルドアップ基板ではさむ複雑設計が取り入れられている。さらに、iPad 1では8枚の従来型基板を2枚のビルドアップ基板ではさむ設計、iPad 2では4枚の従来型基板を6枚のAny-Layerビルドアップ基板ではさむ設計に進化しており、基板の厚さはiPad 1が13.4ミリ、iPad 2では8.8ミリまで薄型化されている。

iPad 2がiPad 1の厚さを30%以上薄型化することに成功した最大の要因が、ビルドアップ基板をさらに進化させたAny-Layerビルドアップ基板の開発。アップルはiPhone 5ではiPad 2同様、Any-Layer基板を採用することを明らかにしている。

iPad 2の主な基板サプライヤは4社であるが、ビルドアップ基板を供給している台湾メーカーは健鼎（Tripod）のみで、残り3社は米国のTTM、日本のイビデン及び名幸となっている。ただ、今回のサプライヤ採用では、南亜（NanYa）、金像（Gold Circuit）、華通（Compeq）、欣興（Unimicron）の起用が有望視されている。

	2009年収入 百万米ドル	2010年収入 百万米ドル
TRIPOD	1013	1361
UNIMICRON	980	1194
TTM	582	1184 (美維を買収)
CMK	959	1043
MEIKO	743	900
IBIDEN	747	832
FOXCONN PCB	750	810
Viasystems	350	764
MULTEK	660	720
COMPEQ	569	707
HANNSTAR	587	696
AT&S	519	647
依利安達	435	599
日立化成	520	550
GCE	433	493
TPT	375	483
敬騰	394	447
LG INNOTEK	340	443
WUS	334	442
南亜電路板	205	329

714号 4月20日

## 【液晶パネル】南京熊貓、第10世代液晶パネル生産ライン建設に意欲

2011/4/15 中国電子情報産業網

中国の大型国有企業の南京中電熊貓（CEC Panda）大株主である南京市人民政府、中国電



子情報産業集団は、第6世代液晶パネル生産ラインの中国南京液晶バレーでの完成・稼働を受けて、最終的な生産高3000億元の中国南京液晶バレー建設に向けて、第10世代の液晶パネル生産ラインの建設を積極的に推進する計画を明らかにした。

中国電子情報産業集団総経理の劉烈宏氏は、今後5年間は中国地場の液晶テレビメーカーがテレビ用大型液晶パネルのほぼ全てを輸入に依存し液晶パネルの輸入額が毎年400億米ドルに達する局面を転換する上で、非常に重要な期間となると指摘。既に京東方(BOE)が安徽省合肥市で、中電熊猫は江蘇省南京市で第6世代生産ラインを稼働、京東方は北京で、華星光電(Chian Star)は深圳で第8世代生産ラインの建設を今年下期に完成、稼働させるほか、龍飛光電(IVO)は昆山で7.5世代生産ライン建設に着工している、また韓国の三星、LGDもそれぞれ蘇州、広州で第8世代生産ラインの建設許可を取得しており、中国内地には既に第6世代以上の高世代液晶パネル生産ラインが、既に稼働済みが2本、建設中が3本、認可取得済みが2本の合計7本という状況になっている。そのため、一部から中国国内の大型液晶パネルの生産能力が将来的に過剰になるとの懸念が出ている。

一方、京東方証券代表の劉洪峰氏は、中国内地の液晶パネル市場規模に比べれば、京東方と中電熊猫の生産能力は、合計しても、ごくわずかな比率でしかないと指摘する。中電熊猫董事長の頼偉徳も、今から生産過剰について語るのは時期尚早との見方を示している。中航証券アナリストの薄小明氏も、中国国内の液晶パネル産業は、中国政府が2012年に液晶パネル輸入関税を7%から9%に引き上げることから、中国国内の液晶テレビメーカーは5-6本の高世代液晶パネル生産ラインの供給を必要しており、生産過剰のプレッシャーは決して大きくないと見方を示している。

中国地場のIT市場調査機関の奥維諮詢副総経理の金曉峰氏の試算によると、上述の7本の高世代液晶パネル生産ラインがフル稼働した場合の年間生産量はガラス基板換算770万枚で、1枚のガラス基板からおよそ8台分の液晶テレビ用パネルを生産できるため、6200万台近くの液晶テレビを供給することが可能と見られている。2012年には中国国内に保有されている4億台のCRTテレビの買い替え需要が見込まれることから、中国国内の高世代の液晶パネル生産能力は過剰との懸念は当たらないとしている。

ただ、高世代液晶パネル生産ラインの投資回収が長期にわたることから、収益が圧迫され、資金繰りが悪化することには注意を要する。友達光電が発表した2010年の業績は、純利益は2.54億米ドルであるが、営業利益率はわずか2.2%、粗利率でもわずか7.8%にすぎない。京東方は、2010年の業績で13-14億元の赤字を計上している。

中電熊猫の第10世代生産ラインの建設に対して、江蘇省南京市常務副市長の沈健氏は、今年6月には着工したいとの考えを明らかにしているが、中電熊猫董事長の頼偉徳氏は、さらに前倒しして5月に開始したいとの考えを示している。

シャープ常務、中国本部部長の菅野信行氏は、中電熊猫の第6世代生産ライン稼働式典に出席した際に、グローバル規模で液晶パネル事業の再編統合を進めており、生産コストが低く、巨大市場を有する中国内地が最も有力な生産集約地になっていることを明らかにしている。ただ、シャープは日本で第10世代生産ラインを昨年10月に稼働し、60インチを超える液晶パネルの生産が可能になっているが、その技術を中国内地に輸出する可能性は小さいと見られている。

## 【液晶パネル】京東方、昨年通年は21億元、1Qは7億元の赤字計上

2011/4/15 中国証券報

中国地場最大の液晶パネルメーカーである京東方(BOE)は、主要製品の価格が低迷したこと、第5世代生産ラインの改造費用の発生などにより、2010年の業績が20.86億元の赤字となったこと、今年1-3月も6.5-7億元の赤字になる見通しを明らかにした。また、昨年11月に稼働させた安徽省合肥市の第6世代生産ラインについても、今年1-3月は稼働率が上がっておらず、赤字状態にあることを明らかにした。

## 【液晶パネル】平遥煤化、日韓と共同で液晶TV用フィルム/バックライト生産

2011-04-18 山西日報

中国山西省の複合企業である平遥煤化集団は、日本の日立造船、恵楽商事、韓国の三星集団傘下の子会社と共同で液晶テレビ用光学フィルム及びバックライト生産工場を山西省平遥市に建設することで正式に契約を締結したことを明らかにした。

第1期の投資額は5.6億元、今年5月に着工、2012年4月に完成、稼働後の年間生産高は9億元に達する見込み。また、3期全ての事業の総投資額は38.4億元で、2015年11月に全て完成予定、全事業完成後の年間生産高は98億元、2200人の雇用を創出するとしている。平遥煤化：[www.pymhcoke.com/](http://www.pymhcoke.com/)

## 【液晶TV】康佳、昨年46%減益 今年1Qも8千萬元の赤字を計上

2011-04-15 騰訊科技

中国地場の大手液晶テレビメーカーである康佳集団(Konka)は、2010年の売上高は178.4億元で前年比34.5%増、純利益は8203萬元で同45.7%減となったことを明らかにした。また、今年1-3月の業績については、7000-8000萬元の赤字になる見通しを明らかにした。今年1-3月が赤字になる要因として、政府の金融引き締め及び人民元高の影響で消費者の購買意欲が減退していること、海外市場も悪化していること、また液晶パネル原材料価格の高騰により、収益が圧迫されたためとしている。

## 【ノートPC】万利達、広達/精英に続くインテル Classmate ODM パートナーに

DIGITIMES 18-4-2011

中国地場のノートパソコンメーカーである万利達(Malata)は、ノートパソコン ODM 大手の広達(Quanta)、精英(Elite)に続く、インテル Classmate パソコン PC-A1007 の3番目の ODM パートナーとなったことを明らかにした。PC-A1007 は、マンツーマン学習専用設計された小型ノートパソコンであり、防水機能付きキーボード、耐衝撃の筐体、180度回転するとタブレット型パソコンとしても使え、ペン入力可能なタッチスクリーンを搭載している。

**万利达**

インテルは、中国内地市場では、2008年に海爾 (Haier) 及び方正 (Founder) との提携、2010年4月には同方 (Tongfang) 及び漢王 (Hanvon) との提携、今年3月には聯想 (Lenovo) との提携を通して Classmate PC を市場で販売している。万利達集団 : [www.malata.com/](http://www.malata.com/)

## 【ノートPC】緯創、HP から大口 ODM 2Q 売上高の前年比 2 桁増見込む

台湾経済日報 2011.04.19

ノートパソコン ODM 大手の緯創 (Wistron) は、ノートパソコンブランド最大手の HP から民生用機種の大口径 ODM を受注したことから、4-6月の売上高が前年比 2 桁増となる見通しを明らかにした。

緯創は近年、ノートパソコン ODM 事業に過度に依存した体質からの脱却を掲げ、液晶テレビの ODM 事業を強化しており、ノートパソコン ODM 事業の売上高全体に占める比率は 55% まで低下している。

緯創の今年3月の連結売上高は 550.11 億 NTD で前年同月比 1.38% 増、前月比 49.9% 増、1-3月の連結売上高は 1372.84 億 NTD で前年同期比 4.23% 減となっている。また、3月のノートパソコン出荷量は 260 万台、1-3月の累計出荷台数は 660 万台だった。

## 【ノートPC】世界の PC 出荷量、1Q は 6 四半期ぶりに前年同期比減に

2011-04-15 台湾経済日報

大手 IT 市場調査機関である IDC は 14 日、今年 1-3 月の世界のパソコン出荷量がタブレット型パソコンの影響で 6 四半期ぶりに前年比減、前年比 3.2% 減の 8055 万台となったことを明らかにした。IDC は当初、同出荷量は前年同期比 1.5% 増と予想していた。

また、同業の Gartner も、今年 1-3 月の世界のパソコン出荷量が、当初の前年同期比 3% 増を大幅に下回る 8425 万台で前年同期比 1.1% 減となったことを明らかにした。

## 【スマートフォン】世界スマートフォン出荷量、震災の影響で最大前年比 5% 減

2011-04-15 賽迪網

一部の大手 IT 市場調査機関は、日本の大震災の影響により、スマートフォンの核心部品の供給が滞っていることから、今年の世界のスマートフォン出荷量が最大で前年比 5% 減となる見通しが出しており、そのうち、ノキア、RIM、ソニーエリクソンが震災の影響を最も受けているとの見方を示している。

一方、アップル、宏達 (HTC)、三星、華為 (Huawei) については、日本の大地震発生直後に代替部品メーカーを探し、今後逼迫が予想される 3 ヶ月の期間限定で臨時発注を行っているため、震災の影響は限定的としている。

また、タブレット PC については、Blackberry スマートフォンメーカーである RIM が、日本のカメラメーカー及び電池メーカーの工場が震災で操業停止となっていることから、タブレットパソコン PlayBook の出荷時期を遅らせたほか、複数の Blackberry 機種の出荷にも影響が出ているという。

日本の震災の影響が世界のスマートフォン産業に長期的な影響を及ぼすか、日本の関連部品メーカーの復旧状況次第であるが、CCS Insight チーフアナリストは、部品逼迫のマイナス影響は7-9月の業績から表面化してくるだろうと予測。また、Gartnerのアナリストも、ブランドメーカーは通常4-5週間分の部品在庫を保管している、また流通ルートには通常6-7週間分の完成品在庫が保管されている、震災の影響が具体的に出てくるのは7-9月以降になる、7-9月の携帯電話の世界出荷量は前年同期比3-5%減となる可能性がある、また日本の部品メーカーの復旧が遅れば、最大で世界の携帯電話出荷量は前年比5%減となる可能性があるとの見方をしている。

## 【太陽電池】鳳凰太陽能、仏マルセイユ近郊に太陽光発電パークを建設

2011-4-15 中国半導体産業協会

中国江蘇省泰州市の太陽電池メーカー、鳳凰太陽能 (Phoenix) は、フランスの InfraClass Energie5 社



及び Cryosarl 社と合弁で、フランスの南部ヴァール県に年間発電能力 12 メガワットの太陽光発電パークを建設することで正式に契約を締結したことを明らかにした。

フランスのヴァール県は、マルセイユから東南に約 40 キロのところに位置し、フランス国内で日光が最も強い地域とされている。鳳凰太陽能は、同発電パークに約 15 万個の First Solar 製のモジュール、35 台の Power One 製の中央インバータを導入することを明らかにしている。鳳凰太陽能：[www.phoenixsolar.net/](http://www.phoenixsolar.net/)

## 【太陽電池】台湾の太陽電池メーカー、市況悪化で4月は1-2割減産

中国電池在線 2011-4-18

台湾の大手太陽電池メーカーである新日光 (Neo Solar) は、イタリアの太陽光発電に対する補助金の大幅削減に対する懸念から発注を留保する動きが広がる中、今年4-6月の業績について慎重な見通しを示すとともに、原材料価格の高騰が収益を圧迫しているとして、4月の設備稼働率を80%前後まで引き下げることが明らかにした。こうした設備稼働率を引き下げる動きは台湾の太陽電池メーカー全体に広がっており、各社とも4月は1-2割の減産を実施する見通しとなっている。

台湾では、益通 (E-ton) が 800 メガワット、昱晶 (Gintech) が 1.5 ギガワット、昇陽 (Solartech) は 1 ギガワット、新日光も 1.3 ギガワットの生産拡張計画を明らかにしているが、今年上期の予想以上の市況の変化を受けて、一部メーカーは拡張計画を延期する準備に入っているという。

## 【ガラス】台湾ガラス、安徽省滁州市にタッチパネル用ガラス基板工場建設

2011-4-16 精実新聞

大手ガラスメーカーである台湾ガラス (台玻) は 18 日、タブレットタッチパネル用ガラス基板市場シェア拡大のため、台湾域内に年産 3.5 万トンの超薄型ガラス基板工場を建



設するほか、中国安徽省滁州市に1億米ドルを投じてタッチパネル用ガラス基板工場を建設することを明らかにした。

## 【電池】上海電気、鋳科と合併で電気自動車用リチウム電池市場開拓

中国新聞社図片網 2011-4-15

中国国有の大手電機メーカーである上海電気集団は14日、台湾台北市で台湾のリチウムイオン電池メーカーである鋳科科技（LICO）と合併で上海市に先端電池 R&D 実験室を設立し、共同で中国内地の電気自動車用リチウム電池市場を開拓することで正式に契約を締結したことを明らかにした。合併契約は、上海電気集団傘下の上海市機械制造工藝研究所と鋳科科技との間で締結されるとしている。

715号 4月22日

## 【ノートPC】宏碁、今年3度目の業績下方修正 関連メーカーに影響拡大

台湾経済日報 2011.04.20

世界第2位のノートPCブランドメーカーである宏碁（Acer）は19日、アップルのタブレット型パソコンブーム、ランチ前CEOの数量重視の経営などにより、今年3度目となる業績見通しの下方修正を発表、当初1-3月比横ばいとしていた今年4-6月のパソコン出荷量を1-3月比10%減になる見通しを明らかにした。

宏碁董事長の王振堂氏は、4月8日に欧州を訪問した際には、これ以上の業績の下方修正はない、4-6月の目標達成には自信があることを表明していたが、一転して今年4-6月のパソコン出荷量を前四半期比10%減とすることを発表することとなった。宏碁の主力ODMパートナーである仁宝（Compal）、緯創（Wistron）は、宏碁の業績は予想以上に悪化しているとして影響の拡大を懸念している。

宏碁は、昨年10-12月の売上高が昨年7-9月比11%減、今年1-3月の売上高も昨年10-12月比10%減となる見込みで、今年4-6月の売上高が再び1-3月比減となれば、3四半期連続で売上高が前四半期比減となる。

再三にわたる業績の下方修正は、宏碁の株価の大幅下落も招いているが、株価が浮上するには少なくとも新経営トップの選出が条件になると見られている。

## 【タッチパネル】宸鴻、アップル好調の恩恵 2Q売上高1Q比10%以上増

台湾経済日報 2011.04.20

世界最大の中小型静電容量式タッチパネルメーカーである宸鴻（TPK）は19日、5月4日に行なう業績発表で、今年1-3月の売上高が253億NTD、昨年10-12月に比べ5.5%減であることを明らかにする見通し。また、宸鴻の1-3月の粗利率は15-16%、純利益は19億NTDに達すると見られている。

同社のアップル向け売上高は売上高全体の7割以上を占めていることから、アップル

iPadが急拡大する世界のタブレット型パソコン市場で7割以上のシェアを持ち続けていることが追い風となり、同社の業績もアップルの業績にリンクして上昇していく可能性が大きい。近く発売される iPhone 4 ホワイトも、宸鴻の業績を押し上げる要因になると見られている。

市場関係者は、アップル及び宏達 (HTC) 向けスマートフォン用小型タッチパネル、アップル iPad 2 向け中型タッチパネルが好調が続いていることから、宸鴻の今年 4-6 月の売上高は 1-3 月比 10%以上増加すると予測している。

## 【タッチパネル】奇美、宸鴻/勝華に続く 3 番目の iPad タッチセンササプライヤに

2011-04-19 鉅亨網

EMS 最大手の鴻海集団 (Foxconn Group) 傘下の大型液晶パネル世界第 4 位の奇美アップルは、台湾の宸鴻 (TPK) 及び勝華 (Wintek) に続く 3 番目の iPad 2 タブレット型パソコン用タッチセンササプライヤとなったことが明らかになった。来月にも供給を開始すると見られている。ただ、獲得した数量は同製品の総生産量のごく一部で、宸鴻及び勝華が主力サプライヤである状況には大きな変化はないという。

業界関係者は、アップルが奇美電子に一部 iPad 2 用タッチセンサを発注したのは、iPad 及び iPhone の主力 ODM パートナーである鴻海との協力関係に配慮したためと見られている。

## 【通信機器】華為、昨年純利益 238 億元 董事会メンバーを初めて公表

2011/4/19 電子工程網

世界第 2 位の移動通信設備メーカーとなった中国最大の通信設備メーカーである華為 (Huawei) は 18 日、昨年通年の業績を発表し、売上高が 1852 億元で前年比 24.2%増、純利益が 238 億元、純利益率が 12.8%に達したこと、2010 年 12 月 31 日時点の手持ち運用現金が 381 億元に上ることを明らかにした。また、これまで公表していなかった全ての董事会メンバー及び監査役会メンバーを初めて対外的に発表し、董事会メンバーが孫亜芳、郭平、徐直軍、胡厚崑、任正非、徐文偉、李傑、丁耘、孟晚舟、陳黎芳、万飈、張平安、余承東、監査役会メンバーは梁華、彭智平、任樹録、田峰、鄧飈であることを明らかにした。

華為の発表内容によると、昨年の売上高のうち、中国国内販売は 648 億元で前年比 9.7%増、海外輸出は 1204 億元で同 33.8%増、また通信ネットワーク設備の売上高は 1229 億元で同 23.0%増、技術サービスの売上高は 315 億元で同 28.6%増、移動通信端末機の売上高は 308 億元で同 24.9%増、出荷量は 1.2 億台余りで、米国及び日本向け出荷量が前年比 2 倍に増えた。

海外市場では、80 件の SingleRAN ネットワークを構築、そのうち 28 件は LTE 商用ネットワーク、47 件は管理サービス契約も獲得している。

法人向け事業では、公共サービスの電子化、金融、エネルギー、教育、流通等の企業向け事業を強化、インターネットサービス、クラウドコンピューターサービス等も開始し

ている。

## 【携帯電話】聯芯科技、昨年の TD チップ<sup>1</sup>出荷量 1300 万枚を突破

2011-4-19 中国半導体産業協会

中国独自の 3G 移動通信標準 TD に対応したチップ大手の聯芯科技は、昨年通年の TD チップ出荷量が 1300 万枚を超え、そのうち独自開発した TD チップ出荷量が 150 万枚を超えたことを明らかにした。

聯芯科技は、TD-SCDMA 端末機産業の中核企業であり、親会社は TD-SCDMA 標準の開発を主導し核心特許を保有している大唐電信集団。大唐電信集団は 2008 年 3 月、上海大唐移動通信設備有限公司の研究開発を土台に、正式に聯芯科技有限公司を設立、TD-SCDMA 端末機用チップの製造販売を開始した。ただ、設立当初は、業界関係者から、聯芯科技の市場性について疑問を投げかける声が出ていた。

こうした疑問を受けながらも、2009 年には業界初の TD-HSPA チップを投入、また同年に同じく業界初の OPhone スマートフォン用 TD チップを投入、さらに昨年 4 月に開催したユーザー総会では、独自に開発した INNOPOWER<sup>TM</sup> 原動力 TM シリーズ TD チップを市場投入することなど実力を発揮、昨年 4 月以降に独自開発した TD チップの出荷量は 150 万枚を超えるに至っている。

聯芯科技の 2010 年通年の売上高は 8 億元で前年比 2 倍を達成、全シリーズのチップ製品の出荷量が 1000 万枚を突破し、TD-SCDMA チップメーカー中、出荷量首位となった。また、今年開催されるユーザー総会では、スマートフォン、タブレット PC 関連の独自チップも発表すると伝えられている。

## 【太陽電池】英利、南アフリカ市場に進出 2 つの太陽光発電所を建設

2011-4-19 中国半導体産業協会

中国地場の大手太陽電池メーカーである英利 (Yingli) は、2010 年の南アフリカワールドカップの公式スポンサーとなってから、アフリカ市場への進出を加速、昨年末に南アフリカ中部の都市に年産 6.21 キロワットの太陽光発電モデルシステムを建設したほか、今年は南アフリカ中部の 2 つの都市でそれぞれ年間発電能力 10 メガワットの太陽光発電所を建設する計画。

南アフリカ政府は、2025 年には年間 26.4 ギガワットの電力不足に陥る見通しであることから、太陽光などの新エネルギーを導入することで電力不足を最小限に抑える政策を打ち出している。

## 【太陽電池】韓国 Top Engineering、揚州に太陽電池モジュール工場建設

2011/4/19 揚州晩報

韓国の大手太陽電池メーカーである Top Engineering 社は、中国江蘇省揚州市に 3000 万米ドルを投じて太陽電池モジュール生産基地を建設することを明らかにした。完成す

れば、年間売上高は1.5億米ドルに達する見込み。

## 【車載電子】航盛集団、河南省鶴壁市で車載電子工業園の建設開始

鶴壁日報 2011-4-19

中国地場の大手カーオーディオメーカーである航盛集団 (Hangsheng) は、中国地場の大手コネクタメーカーである天海集団と共同で、河南省鶴壁市で航盛鶴壁汽車電子工業園の建設を正式に開始したことを明らかにした。

総投資額は10億元、主に自動車用計器、カーオーディオを生産、年産能力は計器が300万台分、カーオーディオが200万台分で、年間売上高5億元を見込んでいます。全事業が完成すれば、年間売上高は30億元を超えると見られている。

## 【半導体】半導体ファウンドリ、ユーザー発注慎重化で受注見通し下方修正

2011-4-19 中国半導体産業協会

タブレット PC 及びスマートフォン製品向け半導体需要は旺盛ではあるものの、その他の製品向け半導体は、日本の311大地震の影響で幾つかのサプライチェーンが寸断されていること、311大地震の影響が世界経済にも波及し消費者の購買力にも減速傾向が見られることなどから、一部の半導体ブランドメーカーが在庫調整の準備に入ったことが明らかになった。

こうした状況から、世界の2大半導体ファウンドリである台積電 (TSMC) 及び聯電 (UMC) は、今後ブランドメーカーからの発注削減が増えることを予想、今年4-6月の売上高見通しを下方修正する可能性があることを明らかにした。

台湾のIC設計企業の今年1-3月実績及び4-6月の業績見通しは、アップル向け製品の受注は旺盛であるものの、その他の端末製品の需要に陰りが見られるほか、クアルコム (Qualcomm)、ブロードコム (Broadcom)、テキサスインスツルメンツ (TI) 等の大手半導体ブランドメーカーが、2011年1-3月は在庫を大幅に積み増したのに対し、4-6月は在庫を削減する方針に転換していると伝えられている。

世界の半導体ブランドメーカーは、日本の311大地震の影響が短期でどのような影響を及ぼすのか情勢をじっくりと見極めようとしており、欧州市場がポルトガル政府の財政破綻の影響で減速していること、日本の国内消費も震災の影響で短期的にはプラス成長が期待できないこと、また新興市場がインフレ抑制のため金融引き締めを継続しているなどから、成長が期待できる市場は米国市場のみとなっていることを理由に、需要期となる7-9月を迎えるまでの期間は在庫抑制を優先する方向に舵を切っていると見られている。

液晶パネル用ドライバ IC 市場では減速傾向がはっきりと現れており、台湾の世界先進 (VIS) は今年3月に一度1-3月の売上高見通しを当初の前年比30%増から20-22%増に下方修正したものの、1-3月の実際の売上高は39.91億NTD、前年比伸び率17.2%止まりとなっている。

台積電は、日本の311地震の影響も考慮すると、4-6月の売上高は1-3月とほぼ同水準



もしくは若干減少するとの見通しを示しているほか、聯電も4-6月の売上高が1-3月を若干下回るとの見通しを示している。

## 【半導体】台積電/日月光など、TIの業績見直し下方修正の影響注視

台湾経済日報 2011.04.20

半導体大手のテキサス・インスツルメンツ (TI) が18日に日本の震災の影響により今年4-6月の業績が予想を下回る見通しを明らかにしたことが、TIのODMパートナーである台積電 (TSMC)、聯電 (UMC)、TIの実装検査パートナーである日月光 (ASE)、矽品 (SPIL)、欣銓 (Ardentec) 等に大きな影響を与える懸念が広がっている。

TIが発表した今年1-3月の純利益は6.66億米ドル、昨年同期の6.58億米ドルを上回ったものの、市場予想を下回る結果となった。売上高は、前年同期比6%増の33.9億米ドルで市場予想34億米ドルに近い水準となったが、4-6月は売上高が伸び悩み、34.1-36.9億米ドルにとどまるとの見通しを示している。

日本の震災の影響については、日本の2つの工場が一時操業を停止しており、1つの工場は近く復旧する見通しだが、茨城の美浦工場については復旧が7月になる見通しであることを明らかにしている。また、日系ユーザーの工場にも大きな被害が出ているため、今後の受注にも影響が懸念されるとしている。

## 【電池】聯威、年産100万個の動力型リチウム電池工場を宜春市で稼働

大江網 2011-4-19

中国江西省のリチウム電池メーカー、聯威新能源有限公司は18日、宜春経済開発区に12.6億元を投じて建設していた年産100万個の動力型リチウムイオン電池生産ライン、年産2000万個のエネルギー型リチウムイオン電池生産ラインを正式に稼働させたことを明らかにした。

江西省宜春市は、アジア有数のリチウム電池生産基地を目指して、中国内地で初の国家級リチウム電池新エネルギーハイテク産業化基地の建設を開始、聯威のほか、福斯特、江特など8社の中国地場のリチウム電池材料、電気自動車、関連設備メーカーが生産を開始している。

716号 4月25日

## 【液晶パネル】三星、来年5月に蘇州7.5G液晶パネル生産ライン建設開始

DIGITIMES 22-4-2011

大型液晶パネル最大手の三星電子は、中国蘇州市で来年5月に7.5世代液晶パネル生産ラインの建設を開始、2013年には量産を開始することを明らかにした。

一方、広州市に8.5世代液晶パネル生産ライン建設を計画しているLG Displayは、同生産ラインの建設は三星電子よりも若干遅れる見通しを明らかにしている。

## 【液晶パネル】華星、32/42型パネルサンプル生産開始 9月に量産開始

2011-4-21 中国半導体産業協会

中国深圳市副市長の袁宝成氏は、深圳市最大の投資事業となる TCL 集団との合弁、8.5世代液晶パネル生産事業、華星光電（China Star）について、既に1本目の生産設備の据付、試運転が完了しており、32インチ、42インチ液晶パネルのサンプル生産を行っていることから、計画通り今年9月には量産を開始できる見通しを明らかにした。

## 【液晶 TV】中国内地の液晶 TV 販売が低調 友達 / 奇美の業績に影響

2011-04-21 台湾経済日報

中国内地の今年1-3月の中国国内の液晶テレビ出荷台数は908万台で前年同期比5.1%増だったが、売上高は351億元で前年同期比6.55%減となり、4年ぶりに売上高が前年同期比減となった。主な要因としては、液晶テレビ市場の成長鈍化があり、特に今年2月は大幅な落ち込みとなった。

中国内地の液晶テレビメーカー向け液晶パネル市場で6割近くのシェアを有している友達（AUO）、奇美電子（CIC）が、中国内地の液晶テレビ市場成長鈍化の影響を最も受けると見られている。

## 【有機 EL】彩虹、広東省で中国初の8.5世代ガラス基板生産ラインを建設

2011-04-19 南方日報

中国地場最大のディスプレイ用ガラス基板メーカーである彩虹（Caihong）は、広東省が推進している有機 EL パネル産業モデル基地向けにガラス基板を供給するため、広東省仏山市順徳地区に第1期として66億元を投じて2年以内に8本の8.5世代ガラス基板生産ラインを建設する計画を進めていることを明らかにした。

彩虹集団順徳の副総経理、孫鋼智氏は、8.5世代基板ガラス生産ラインは2.2メートル×2.5メートルのパネル用ガラス基板を生産するもので、59型、84型の大型液晶テレビ用液晶パネルとして使用される、彩虹が自社で進めている有機 EL 事業向けに供給するほか、彩虹のユーザーである深圳華星（China Star）、広州楽金（LG Display）の8.5世代液晶パネル生産ライン向けに供給するとしている。

## 【EMS】富士康、ブラジルで120億米ドル規模の投資計画を検討中

2011-04-21 台湾中央社

ブラジル開発商工省のピメンテル（Fernando Pimentel）氏は21日、世界最大のEMSメーカーである鴻海富士康（Foxconn）がブラジルに120億米ドル規模の投資を行なうことを検討中で、実現すれば、10万人規模の雇用創出効果があることを明らかにした。

鴻海集団董事長の郭台銘氏は、ブラジルのルセフ大統領が提案した10万人規模の低賃金

労働力の供給等の誘致計画に対して、ブラジルの賃金は高すぎる、サッカーの公式試合があれば、仕事の持ち場を離れて作業が滞る、ブラジル通貨レアルの上昇も懸念材料と懐疑的態度を示していたが、その一方でブラジルの水力資源、鉱物資源の豊かさを評価、ブラジルでタブレット型パソコン、携帯電話、液晶テレビ、ノートパソコン用液晶パネルを生産する工場を建設する計画を検討しているという。

富士康は2005年にブラジルに進出、既に5つの工場を建設し、既に4800人の雇用を創出している。ブラジル富士康は、主にソニー、デル、HP向けにデジタルカメラ、パソコン用マザーボード、携帯電話、ノートパソコン、ネットブック等を生産している。5工場のうち、サンパウロ州ジュンディアイの工場が最大で、従業員数は3200人だという。

## 【携帯電話】展訊、2010年下期ベースバンドチップ出荷量が世界5位

2011-4-22 中国半導体産業協会

IT市場調査機関 Strategy Analytics は、2010年の世界の携帯電話用ベースバンドチップ出荷額は前年比20%増の132億米ドルに達したこと、そのうちクアルコム (Qualcomm) が CDMA/W-CDMA ベースバンドチップ市場で40%を超えるシェアを獲得し首位、聯発 (Mediatek)、テキサスインスツルメンツ (TI)、インテルが2-4位だったことを明らかにした。

また、Strategy Analytics シニアアナリストの Sravan Kundojjala 氏は、中国地場の展訊 (Spreadtrum) の2010年下期のベースバンドチップ出荷量が Broadcom、Marvell、ST-Ericsson を上回って世界5位となったこと、展訊及び聯発の2010年の GSM、GPRS、EDGE ベースバンドチップの世界出荷量シェアが合わせて45%に達したことを明らかにした。

Strategy Analytics 統計によると、2010年の展訊、Broadcom の出荷量及び売上高はどちらも前年比2倍以上に増加、Broadcom は下期にノキア、三星電子向け出荷が増えたこと、展訊は中国内地市場でシェアを大幅に伸ばしたことが大きな要因となっている。

## 【携帯電話】アップル、1Qにノキアを抜いて世界最大の携帯電話メーカーに

2011-4-22 中国半導体産業協会

米国のIT市場調査機関 Strategy Analytics が21日に発表した最新レポートによると、今年1-3月のアップルの携帯電話売上高がノキアを抜いて、初めて世界最大の携帯電話メーカーとなったことが明らかになった。

Strategy Analytics シニアアナリスト、Alex Spektor 氏によると、今年1-3月の米国 iPhone 携帯電話事業部の出荷額は119億米ドルで、初めてノキアの94億米ドルを抜いて、世界最大の携帯電話メーカーとなった。アップルは携帯電話事業に参入してわずか4年で世界の携帯電話市場をリードする地位を築いたことになる。

Strategy Analytics ダイレクターの Neil Mawston 氏は、売上高ベースで見ると、アップルは既に世界最大の携帯電話メーカーであり、世界最大のスマートフォンメーカー、タブレット型パソコンメーカーになっている、またアップルは自社にハードウェア、ソ

フトウェア、サービス全ての部門を有していることから、高い収益力も兼ね備えているという強みも持っている」と指摘している。一方、今後アップルにとって脅威となるのは、グーグル Android 携帯電話メーカーであること、2011 年末には世界の Android 携帯電話出荷量はアップルを超えるとも指摘。ノキアも首位奪還に向けてマイクロソフトと共同で大型プロジェクトを進めているといわれている。

## 【モニタ】台湾メーカー 1Q 液晶モニタ出荷量、中国地場メーカー成長で減少

DIGITIMES 22-4-2011

台湾の IT 市場調査機関 Digitimes Research は、今年 1-3 月の台湾メーカーの液晶モニタ総出荷量は 3042 万台で昨年同期では依然 3.8% 増を確保したが、昨年 10-12 月比 3.7% 減となったことを明らかにした。また、韓国メーカーの今年 1-3 月の液晶モニタ出荷量も、昨年 10-12 月比で台湾メーカーの 3.7% を上回る減少となった。

台湾メーカーの今年 1-3 月の液晶モニタ世界出荷量シェアは、中国地場メーカーの成長等により、昨年 10-12 月比 0.1 パーセントポイント減の 69.9% となった。

## 【LED】サファイア基板価格、中台韓の生産拡張で1-ク時比 10%下落

2011-4-21 中国半導体産業協会

台湾、韓国、中国内地のサファイア基板メーカーが相次いで生産拡張計画を発表しているとともに、一部の LED 応用製品の需要が減速傾向を示す中、昨年 10 月頃から上昇していたサファイア基板価格に下落傾向が出始めた。業界では、2 インチのサファイア基板の価格は、ピーク時の 35-40 米ドルから 30-36 米ドルまで約 10% 下落、今年 6 月までにさらに 28-33 米ドルまで下がると見られている。

LED エピタキシャルウエハ生産コスト全体に占めるサファイア基板コストは 40% 前後であるので、サファイア基板価格が 10% 下落すれば、エピタキシャルウエハ生産コストも 4% 減少する。

## 【太陽電池】大唐新能源、天威 / CBD エナジーと豪州に合弁企業設立

2011-4-21 中国半導体産業協会

中国第 2 位の風力発電設備メーカーである大唐集団新能源股份有限公司は 21 日、豪州に合弁企業を設立し、風力発電所及び太陽光発電所を建設することを明らかにした。

大唐新能源の発表によると、中国地場の保定天威保変電気、豪州の CBD エナジーと合弁で中澳エネルギー集団を設立、共同で豪州の風力、太陽光等の新エネルギー市場を開拓するという。大唐新能源、天威保変、CBD エナジーの出資比率は、63.75%、12.5%、23.75%。

## 【半導体】日月光、上海に R&D センター 技術向上には転職率改善必要

2011-4-21 中国半導体産業協会



世界最大の半導体ファウンドリである台積電（TSMC）副董事長の曾繁城氏は、上海松江工場の0.13ミクロン生産能力を拡張することを明らかにしたのにつき、世界最大の半導体実装検査企業である日月光（ASE）が19日、上海浦東張江ハイテク園區に日月光上海本部及びR&Dセンターを建設、2012年に正式に運営を開始することを明らかにした。

日月光集団COOの呉田玉氏は19日、日月光の中国内地への累計投資額は8.2億米ドルに上る、中国内地市場での売上高は昨年25億米ドルを突破していることを明らかにするとともに、3期に分けて上海浦東張江科技園區に総建築面積11万6千平方メートルの日月光上海本部及びR&Dセンターを建設すること、総建築面積4万2千平方メートルの第1期を2012年に開業することを明らかにした。

呉田玉氏は、上海の半導体産業発展に欠かせないものとして人材の確保を指摘、上海市の統計によると、上海市のエンジニアの年間転職率は実に27%に達しており、3年余りで全てのエンジニアが転職し入れ替わる状況にある、これでは上海の半導体産業の総合的な技術水準を引き上げることは困難として、官民一体となって技術者の定着率を引き上げる取り組みをする必要があるとの考えを示した。

## 【半導体】マイクロン、中国西安の実装検査工場第2期の建設を決定

電子工程世界 2011-4-20

半導体大手の米国マイクロンは、中国西安市での投資を拡大、西安市の半導体実装検査工場第2期の建設を決定したことを明らかにした。新工場は3-5年以内に完成、量産を開始する計画。

マイクロンの西安工場は、主にDRAM、NANDフラッシュ、CMOSグラフィックセンサ等の半導体製品の実装検査を行っている。

## 【車載電子】台達、緯創/佳世達と共同で中国市場向けEVを開発

DIGITIMES 21-4-2011

世界最大のACアダプタメーカーである台達電子（Delta Electronics）は、ノートパソコンODM大手の緯創（Wistron）及び電子機器ODM大手の佳世達（Qisda）と共同で中国市場向け電気自動車を開発、上海のモーターショーに出展した。

3社共同開発の顧問を務めている宏碁（Acer）創業者の施振栄（Stan Shih）氏は、パソコン産業で成功を収めている台湾メーカーには、パソコン産業の経験を電気自動車に生かすことができるという大きな優位性があるとの見方を示した。

## 【電池】贛鋒鋳業、新余市に年産2千万Ahのリチウムバッテリー工場を建設

上海証券報 2011-4-20

中国江西省新余市（右地図）に本社を置く中国有数のリチウムメーカーである贛鋒鋳業は4月19日、1500万元

の出資を行い、新余市に鋳鋒鋳業リチウム電池有限公司を設立、年産2000万

贛鋒鋳業  
GanfengLithium



アンペアアワーのリチウムバッテリー生産工場を建設することを明らかにした。また、1.2億元を投じて年産1万トンのリチウム塩生産ラインを新余市に建設することも明らかにした。

贛鋒鋳業：www.chinalichem.com/

## 【銅箔】金居開発、3月売上高が前月比13%増 1Q売上高は8%増

2011-4-18 中国 PCB 産業協会

台湾の大手銅箔メーカーである金居開発銅箔 (Co-Tech) は、今年3月の売上高が5.1億NTDで前月比13%増、1-3月の売上高が14.5億NTDで昨年10-12月比8%増、昨年同期比9.6%増となったことを明らかにした。

717号 4月27日

## 【携帯電話】華為、3年以内に携帯電話出荷量で世界3位を目指す

2011-4-20 中国 PCB 産業協会

世界第2位の移動通信設備メーカーとなった中国の華為技術 (Huawei) は、本業である移動通信設備に続く新たなけん引事業として携帯電話端末機事業に注力する計画で、3年以内に携帯電話出荷量で世界3位以内、携帯電話売上高で世界5位以内を目指すことを明らかにした。

この計画の一環として、華為傘下で端末製品事業を行っている華為終端有限公司副総裁、COOの徐昕泉氏は、今年の本社の携帯電話出荷量目標を前年比2倍の6000万台としていることを明らかにしている。同氏によると、世界のAndroid携帯電話メーカーの中で、華為は既に出荷量で5位となっている、今年には1200-1500万台のAndroidスマートフォンを出荷する計画で、携帯電話出荷量全体の20-25%を占めるといふ。華為が出荷しているスマートフォンは基本的にグーグルAndroid機種だといふ。

華為が先日発表した2010年業績によると、今後3年間に最も成長が見込まれるスマートフォンはAndroidスマートフォンとされており、2014年には出荷量がiPhoneを上回るとの見方も出ている。

華為の端末機事業には、モバイルブロードバンド端末、携帯電話端末、融合型端末、映像端末の4つの製品ラインがあるが、2010年の端末機事業の総出荷量は1.2億台、売上高は前年比25%増の307.48億元に上り、華為の売上高全体の16%を占める中核事業となっている。そのうち、携帯電話端末機の出荷量は3000万台(うちスマートフォンは330万台)で、日本、米国、欧州を含む70余りの国・地域に出荷している。

携帯電話出荷量で世界第5位に躍進している中興通迅 (ZTE) も、華為同様、2011年に前年比4倍の1200万台のスマートフォンを出荷する計画を明らかにしている。

急成長しているタブレット型パソコンについては、今年には100万台前後を出荷する計画で、主に海外市場に輸出する計画だといふ。華為は昨年末に米国及び豪州でテレビ電話機能を持ったタブレット型パソコンを投入、既に20万台余りを販売している。IT市場

調査機関 iSuppli によると、2011年のタブレット型パソコン出荷量は5730万台に達する見通しで、そのうちアップルのiPadが76%のシェアを維持するとしている。

## 【タブレット】東芝、6月に Honeycomb タブレット投入 和碩が ODM 受注

DIGITIMES 22-4-2011

日本の東芝は、Android Honeycomb を搭載したタブレット PC、Regza AT300 を今年6月から日本市場で販売を開始する計画で、その ODM をノートパソコン ODM 大手の和碩 (Pegatron) が受注したことが明らかになった。

和碩は、華碩 (Asustek) 及び宏達 (HTC) からタブレット PC の ODM を受注していることから、今年度のタブレット PC 出荷量が100万台近くに達する見通し。

なお、東芝のタブレット PC、Regza AT300 は、10.1 インチパネル、Nvidia の Tegra 2 デュアルコアプロセッサを搭載している。

## 【電子書籍】中国内地 1Q 電子書籍リーダー出荷量、昨年 4Q 比 7%減

DIGITIMES 22-4-2011

中国内地の今年1-3月の電子書籍リーダー出荷量は28.2万台にとどまり、昨年同期比では13.41%増となったものの、昨年10-12月比では7.41%減となった。

中国内地で電子書籍リーダーの出荷量が前の四半期を下回るのは初めてで、市場関係者はアップル iPad 等のタブレット型パソコンとの競争激化によるものと指摘している。

中国最大の電子書籍リーダーメーカーである漢王 (Hanvon Technology) は、今年1-3月の電子書籍リーダーの出荷量が昨年10-12月比22.62%減の15万台にとどまったことを明らかにしている。

中国国内の主要電子書籍リーダーメーカー今年1Q 出荷量

メーカー	出荷量 (台)	市場シェア
漢王 (Hanvon)	149800	53.03%
盛大 (Shanda)	40300	9.20%
愛国者 (Aigo)	24200	8.57%
iRiver (韓国)	10200	3.61%
津科 (Hanlin)	9500	3.31%
Amazon	8600	3.04%
Newman	3500	1.24%
方正 (Founder)	200	0.07%

## 【ノートPC】緯創、重慶市に2千万米ドル出資しノートPC生産企業を設立

DIGITIMES 25-4-2011

ノートパソコン ODM 大手の緯創 (Wistron) は、マレーシアに3700万米ドルを投じて液晶 TV を生産する企業を設立したほか、中国重慶市に2000万米ドルを投じてノートパソ

コンを生産する緯創資通(重慶)有限公司を設立したことを明らかにした。  
なお、緯創の今年 1-3 月の連結売上高は 1372.88 億 NTD(46.4 億米ドル)、粗利益率は 5.18%、純利益は 20.12 億 NTD だった。

## 【パソコン】中国 PC 市場、2 年以内に米国を抜いて世界最大の市場に

2011-4-22 中国 PCB 産業協会

大手 IT 市場調査機関 IDC 及び Gartner は、今年もしくは来年に、中国が米国を抜いて世界最大のパソコン (PC) 市場になるとの見通しを示しており、オペレーションシステム最大手のマイクロソフト (Microsoft) スポークスマンの Stuart McKee 氏は、中国内地の 95% 以上のパソコンが Windows を搭載していることから、近く世界最大の PC 市場になる中国内地の PC 市場への投資を拡大する意向を明らかにしている。

Gartner は、2010 年の米国市場の PC 出荷量は 7170 万台、世界市場シェアは 20.4%、一方、中国市場の PC 出荷量は 6780 万台、世界市場シェアは 19.3% であったが、今年は、米国の PC 出荷量が 1 桁台の成長にとどまるのに対し、中国の PC 出荷量が今年も 2 桁台の成長が見込まれることから、中国が米国に代わって世界最大の PC 市場となると予測している。また、IDC は、中国の PC 出荷量が来年には米国の PC 出荷量を上回るとしており、今年中国の PC 出荷量は前年比 10.8% 増、米国の PC 出荷量は同 4.7% 増と予測している。IDC が調査した昨年米国及び中国の PC 出荷量はそれぞれ 7500 万台、6380 万台とされている。

## 【太陽電池】米国の昨年の太陽電池据付量、前年比 2 倍の 878MW

2011-04-22 i 美股

米国太陽エネルギー産業協会 (SEIA) の発表によると、2010 年の米国の太陽電池産業規模は 60 億米ドルで 2009 年の 36 億米ドルに対して 67% 増、米国国内の年間の太陽電池据付量は前年比 2 倍の 878 メガワット、6.5 万世帯が新たに太陽光発電システムを導入しことが明らかになった。

また、米国国内の太陽電池関連メーカーの生産量は、シリコンウエハが前年比 97% 増の 624 メガワット相当、太陽電池セルが同 81% 増の 1058 メガワット、太陽電池モジュールが同 62% 増の 1205 メガワットと急増した。

米国の太陽電池市場は、日本では住宅用太陽電池が市場をけん引、ドイツでは住宅及び企業向け小型発電システムが市場をけん引しているのに対し、スペイン及びイタリア同様、非住宅の商業用及び公共用太陽電池が市場をけん引している。ただ、昨年からは住宅用太陽電池市場も急拡大している。

## 【PCB】耀華電子、宜蘭第 2 工場 HDI 設備導入で 15 億 NTD を調達

2011-4-22 中国 PCB 産業協会

プリント配線基板 (PCB) 大手の耀華電子 (Unitech) は、15 億 NTD の資金調達を行い、台



湾域内の宜蘭第2工場のビルドアップ基板(HDI)生産設備を導入することを明らかにした。耀華電子は、宜蘭第2工場の建設を加速していることから、今年通年の設備投資が30億NTDを超える見通しを明らかにするとともに、30億NTDの投資の全てを台湾域内に集中することも明らかにしている。

耀華電子の今年の設備投資は、主にスマートフォン、タブレット型パソコン用ビルドアップ基板の生産拡張のため行われており、通年の30億NTDの投資のうち28億NTDは宜蘭第2工場のビルドアップ基板生産拡張に当てられるという。宜蘭第2工場の設備据付は早ければ今年8月から開始、今年11月には稼働できる見通しという。

なお、耀華電子の昨年通年の連結売上高は128.98億NTD、営業総利益は15.87億NTD、粗利率は12.39%、営業利益は3.09億NTD、税前利益は1.8億NTD、税後利益は1.35億NTDだった。

## 【電池】パナソニック、蘇州に携帯電話用リチウムイオン電池第2工場を建設

中国家電在線 2011-4-25

日本のパナソニックは23日、2012年までに中国蘇州市に新たにリチウムイオン電池工場を稼働させることを明らかにした。生産するリチウムイオン電池は主に携帯電話等の電子機器用のもので、グループ傘下の三洋電機の蘇州工場の隣接地に新工場を建設する。また、三洋電機の北京リチウムイオン電池工場にも生産ラインを増設することを明らかにした。

パナソニックは、2015年までにグループ全体の携帯電話用リチウムイオン電池生産能力を50%増とする計画で、同時に、現在80-90%のリチウムイオン電池を生産している日本国内の生産能力を削減し、2015年までに中国で全体の50%以上を生産する体制をつくる計画。それにより、円高リスクを回避するとともに、生産コストの削減効果も狙う。また、その一環で、三洋電機は現在大阪府貝塚工場及び兵庫県洲本工場にある現有のリチウムイオン電池生産ラインを段階的にそれぞれ蘇州工場及び北京工場に移転する計画。さらに、貝塚、洲本の2工場での生産を継続するかどうかについても検討を進めていることを明らかにしている。

## 【太陽電池】航天機電、天津環欧と11億元相当シリコンウエハ購買契約

老杳吧 2011-4-25

中国国有系の大手宇宙航空産業メーカーである航天機電は、100%子会社の上海神舟新能源發展有限公司が天津環欧半導体材料技術有限公司と11億元相当の太陽電池用シリコンウエハ購買契約を締結したことを明らかにした。

契約では、上海神舟新能源は2011年4月から2013年3月までに単結晶シリコンウエハ、2011年7月から2013年3月までに多結晶シリコンウエハを天津市環欧半導体材料から市場価格比3-5%低い価格で調達できるとされている。

## 【半導体】半導体実装の泰林科技、南茂科技の上海子会社 100%買収

2011-4-25 中国半導体産業協会

台湾の中堅の半導体実装検査企業である泰林科技 (Thailin) は、約 4000 万米ドルで南茂科技 (ChipMOS) の上海子会社である宏茂微電子 (ChipMOS) の持分 100% を取得したことを明らかにした。



宏茂微電子の 2010 年の売上高は 9.6 億 NTD、税後純利益率は 5%、主にニッチ型メモリ、NOR Flash メモリ、ロジック IC 等の実装を行っている。宏茂微電子の既投資額は 1.3 億米ドル、資本金は 2600 万米ドルで、月産能力は 3000 万個、2011 年の売上高は前年比 20-30% 増、純利益率は前年比 1-1.5 ポイント改善する見通し。

泰林科技：[www.thailin.com.tw/](http://www.thailin.com.tw/)

## 【受動部品】順絡電子、貴陽に 10 億元投じチップインダクタ等の生産拡張

2011-4-25 中国半導体産業協会

中国地場の大手受動部品メーカーの順絡電子 (Sunlord) は、チップインダクタ等の生産能力を拡張するため、貴州省貴陽市の国家ハイテク産業開発区に 10 億元を出資し貴陽順絡迅達電子有限公司を設立、順絡迅達電子工業園を建設することで正式に契約を締結したことを明らかにした。

## 【ケーブル】瀋陽電纜、ビスキャスと合併で高架送電用特種電線工場を建設

百方網 2011-4-25

日本の高圧電力ケーブル大手のビスキャスは、中国瀋陽電纜と合併で瀋陽経済技術開発区に 2.2 億元でビスキャス瀋陽電纜有限公司を設立したことを明らかにした。ビスキャス瀋陽電纜有限公司は、主に高架送電用低風圧電線等の特種電線の生産、販売を行う。稼働後の年間生産高は 10 億元に達する見込み。中国内地の高架送電用電線需要は年率 3-6% の成長が予想されており、2012 年には 100 万トンを超えると見られている。